

令和3年度（2021年度）

第1回

宇部市地域包括支援センター運営協議会

健康福祉部 高齢者総合支援課

## 議題

- 1 令和2年度（2020年度）宇部市地域包括支援センターの事業報告について  
（資料5・6・7）
- 2 令和3年度（2021年度）宇部市地域包括支援センターの事業計画（案）について  
（資料8・9）
- 3 令和2年度（2020年度）「福祉なんでも相談窓口」事業実施状況（資料10）  
及び令和3年度（2021年度）事業について（資料11）

## 資料

- 1 宇部市地域包括支援センター運営協議会委員名簿
- 2 宇部市地域包括支援センター運営協議会設置要綱 資料1
- 3 第8期宇部市高齢者福祉計画（概要版） 資料2
- 4 宇部市地域包括支援センター圏域内設置図及び令和2年度（2020年度）  
圏域別人員配置比較一覧表 資料3
- 5 宇部市地域包括支援センターの運営方針 資料4
- 6 令和2年度（2020年度）宇部市地域包括支援センター事業報告 資料5
- 7 令和2年度（2020年度）宇部市地域包括支援センター収支決算書 資料6
- 8 令和2年度（2020年度）介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント  
委託先一覧 資料7
- 9 令和3年度（2021年度）宇部市地域包括支援センター事業計画 資料8
- 10 令和3年度（2021年度）宇部市地域包括支援センター収支予算書 資料9
- 11 令和2年度（2020年度）「福祉なんでも相談窓口」事業実施状況について 資料10
- 12 令和3年度（2021年度）「福祉なんでも相談窓口」の取り組みについて 資料11

## 宇部市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

敬称略

区分	関係団体等	氏名
地域医療	宇部興産中央病院	清水 昭彦
学識経験者	宇部フロンティア大学	清水 佑子
関係団体等 代表者	宇部市医師会	山本 光太郎
	山口県介護福祉士会	臺 真由美
	山口県訪問看護ステーション協議会	原田 夕香
	山口県デイサービスセンター協議会	野上 勝江
	宇部市老人福祉施設連絡協議会	吉久 浩之
	宇部市介護支援専門員協議会	田久保 好美
	山口県社会福祉士会	安光 洋平
	宇部市介護家族の会	折井 汲子
	宇部市民生児童委員協議会	川崎 雅行
公募委員	公募委員	唐藤 和子

## 宇部市地域包括支援センター運営協議会設置要綱

## (設置)

第1条 地域包括支援センター（以下「センター」という。）の適切な運営、公正・中立の確保  
その他センターの円滑かつ適正な運営を図るため、宇部市地域包括支援センター運営協  
議会（以下「運営協議会」という。）を設置する。

## (構成員等)

## 第2条

運営協議会は、次に掲げる者から、センターの公正・中立性を確保する観点から、地域  
の実情に応じて市長が選定する。なお、構成員は非常勤とし、再任することができる。

- ① 介護サービス及び介護予防サービスに関する事業者及び職能団体
- ② 介護サービス及び介護予防サービスの利用者、介護保険の被保険者（1号及び2号）
- ③ 介護保険以外の地域資源や地域における権利擁護、相談事業等を担う関係者
- ④ 前各号に掲げるもののほか、地域ケアに関する学識経験を有する者

2 運営協議会には会長を置く。会長は、構成員の互選により選任する。

## (所掌事務)

第3条 センターの設置等に関する次に掲げる事項の承認に関すること

- ① センターの設置、変更及び廃止並びにセンターの業務の法人への委託又は  
センターの業務を委託された法人の変更
- ② センターの業務を委託された法人による総合事業及び予防給付に係る事業の実施
- ③ センターが第1号介護予防支援事業及び予防給付に係るマネジメント業務を  
委託できる居宅介護支援事業所
- ④ その他運営協議会がセンターの公正・中立性を確保する観点から必要であると  
判断した事項

2 センターの運営に関すること

① 運営協議会は、毎年度ごとに、センターより次に掲げる書類の提出を  
受けるものとする。

- ア 当該年度の事業計画書及び収支予算書
- イ 前年度の事業報告書及び収支決算書
- ウ 前年度のセンターの運営状況に関する評価の結果
- エ その他運営協議会が必要と認める書類

② 運営協議会は、①イの事業報告書及び①ウの評価結果によるほか、次に掲げる点  
を勘案しながら市が作成した基準に基づき、定期的に又は必要な時に、事業内容を  
評価するものとする。

- ア センターが作成するケアプランにおいて、正当な理由なく特定の事業者が提供するサービスに偏りがいないか
- イ センターにおけるケアプランの作成の過程において、特定の事業者が提供するサービスの利用を不当に誘因していないか
- ウ 福祉の総合相談窓口として機能を果たしているか
- エ その他運営協議会が地域の実情に応じて必要と判断した事項

3 センターの職員の確保に関すること

運営協議会は、センターの職員を確保するため、必要に応じ、運営協議会の構成員や、地域の関係団体等の間での調整を行う。

4 その他の地域包括ケアに関すること

運営協議会は、地域における介護保険以外のサービス等との連携体制の構築、地域包括支援業務を支える地域資源の開発その他の地域包括ケアに関する事項であって運営協議会が必要と判断した事項を行う。

(事務局)

第4条 運営協議会の事務局は、宇部市高齢者総合支援課に置く。

附 則

この要綱は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

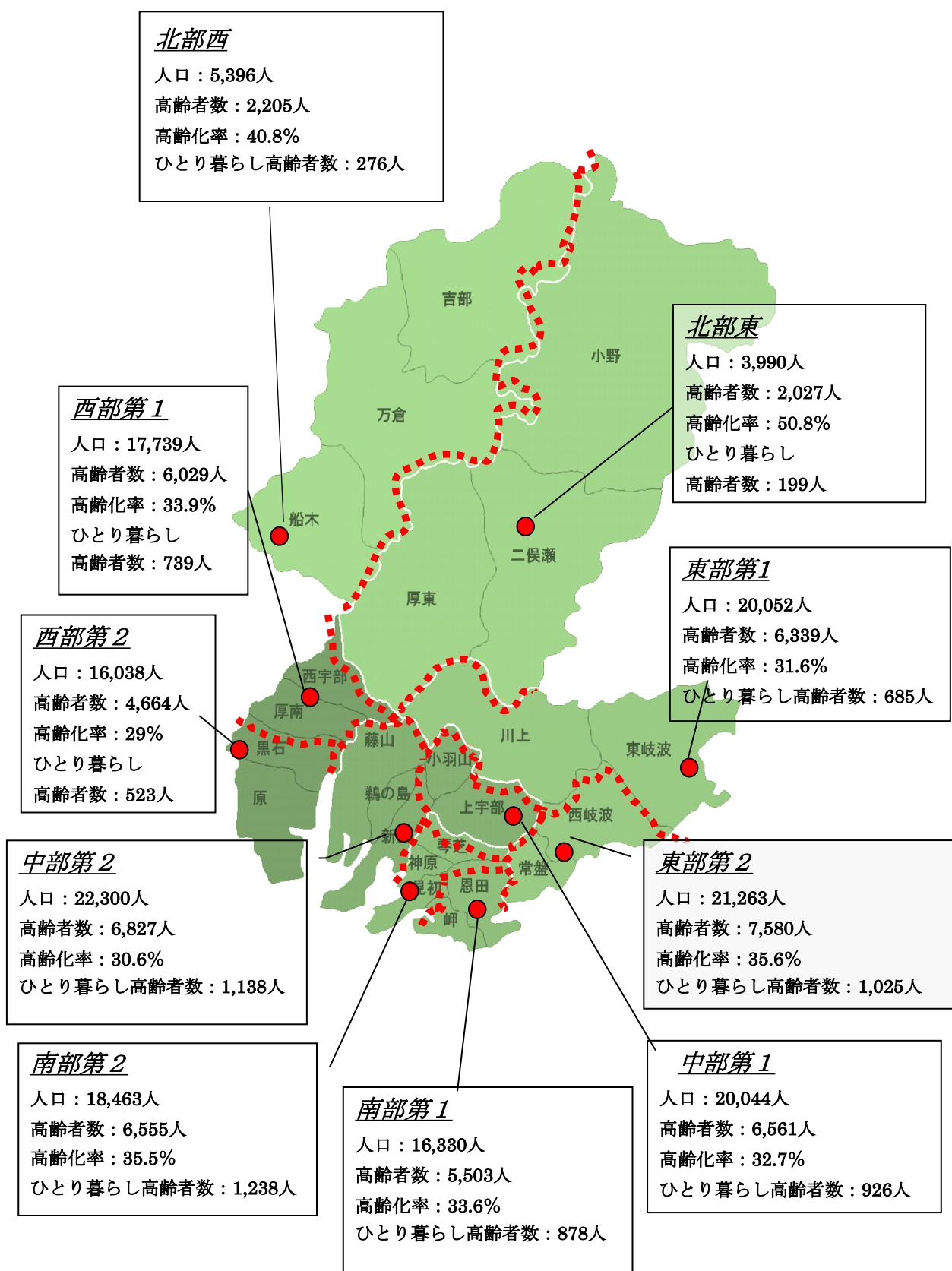
この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年6月1日から施行する。

## 宇部市地域包括支援センター圏域内設置図

R3.4.1現在



令和2年度（2020年度）圏域別人員配置比較一覧表

圏域	担当圏域	高齢者数	給付管理数	包括的支援事業等の実施に必要な人員	指定介護予防事業担当者
東部	東部第1	6,339	2,251	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	東部第2	7,580	3,569	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
西部	西部第1	6,029	2,946	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
	西部第2	4,664	2,145	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
中部	中部第1	6,561	3,259	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	中部第2	6,827	3,731	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
北部東	全域	2,027	1,334	保健師1人 社会福祉士又は主任介護支援専門員 1人	1人
北部西	全域	2,205	1,369	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
南部	南部第1	5,503	2,820	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	南部第2	6,555	3,629	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
合計		54,290	27,016	28人	15人

(高齢者は令和3年4月1日時点、給付管理数は令和3年3月件数)

## 宇部市地域包括支援センターの運営方針

### 1 方針策定の趣旨

この方針は、宇部市高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）（以下「支援センター」という。）の運営上の基本的な考え方や理念、業務推進の指針等を明確にし、支援センター業務の円滑かつ効率的な実施に資することを目的に策定します。

### 2 支援センターの意義・目的

支援センターは、地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことを業務とし、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する中核機関として設置しています。（介護保険法第115条の46）

設置責任主体は宇部市であることから、支援センターの設置目的を達成するための体制整備等に努め、その運営について適切に関与する必要があります。

具体的には、地域の関係機関との連携体制の構築など重点的取組み方針について、宇部市と支援センターが共通認識のもと、協働して適正な運営に努める必要があります。

また、支援センターは、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することにより、地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、地域包括ケアシステムの実現を目指します。

### 3 運営上の基本的考え方や理念

#### (1) 公益性の視点

支援センターは、宇部市地域包括支援センターの運営及び職員に関する基準を定める条例（平成26年条例第43号）を遵守し、市の介護・福祉行政の一翼を担う「公益的な機関」として、公正で中立性の高い事業運営を行います。

また、支援センターの運営費用は、市民の負担する介護保険料や、国・県・市の公費によって賄われていることを十分理解し、不当に特定の事業所等に偏らない事業運営を行います。

#### (2) 地域性の視点

支援センターは、地域の介護・福祉サービスの体制を支える中核的な機関であるため、担当地域の特性や実情を踏まえた適切かつ柔軟な事業運営を行います。

運営協議会や地域ネットワーク会議等の場を通じて、地域の住民や関係団体、サービス利用者や事業者等の意見を幅広く汲み上げ、日々の活動に反映させるとともに、地域が抱える課題を把握し、解決に向けて積極的に取り組みます。

#### (3) 協働性の視点

支援センターの保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等の専門職が「縦割り」に業務を行うのではなく、職員相互が情報を共有し、理念・方針を理解した上で、連携・協働の体制を構築し、業務全体を「チーム」として支えます。

また、地域の保健・福祉・医療の専門職やボランティア、民生委員等の関係者と連携を図りながら活動します。



## 4 業務推進の指針

### (1) 第1号介護予防支援事業

要支援者及び事業対象者に対して、介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、その選択に基づき、訪問型サービス（第1号訪問事業）、通所型サービス（第1号通所事業）、その他の生活支援サービス（第1号生活支援事業）のほか一般介護予防事業や市町村の独自施策、市場において民間企業により提供される生活支援サービスも含め、要支援者等の状況にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助を行う事業です。そして、介護予防の目的である「高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐ（遅らせる）」「要支援・要介護状態になってもその悪化をできる限り防ぐ」ために、高齢者自身が地域における自立した日常生活を送れるよう支援するものです。

### (2) 包括的支援事業

#### ①総合相談支援業務

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行います。

#### ②権利擁護業務

地域の住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳ある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から高齢者の権利擁護のため必要な支援を行います。

#### ③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等の連携、在宅と施設の連携など、地域において、多職種相互の協働等により連携し、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを実現するため、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行います。

### (3) 多職種協働による地域包括支援ネットワーク構築事業

包括的支援事業を効果的に実施するために、介護サービスに限らず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、インフォーマルサービスなどの様々な社会的資源が有機的に連携することができる環境整備を行う。このため、こうした連携体制を支える共通の基盤として多職種協働による地域包括支援ネットワークを構築します。

平成25年4月1日策定

平成27年4月1日改正

平成29年4月1日改正

**令和2年度（2020年度）  
宇部市地域包括支援センター  
事業報告**

## 令和2年度 宇部市地域包括支援センター事業実施方針

宇部市では、第7期宇部市高齢者福祉計画の中で、基本理念（目指すまちの姿）として「健康づくりに取り組み、高齢者が地域で活躍できる地域共生のまちづくり」を掲げています。

地域包括支援センターは、上記の基本理念を実現するために、地域の現状・課題を捉え、その課題を解決するために事業を実施することとします。

令和2年度本事業を実施するにあたり、地域包括支援センターは下記の重点施策に取り組みます。

**重点施策** 1、5、6については必須とし、2～4については1つ選択とする。

<b>1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域のサロン等、地域の集まりの場を活かした健康づくりや介護予防教室等住民主体の取り組みを支援・推進する。</li> <li>・生活機能の低下が見込まれる高齢者に対して、総合事業について十分説明し、高齢者が総合事業のサービスが利用できるよう適切にマネジメントを実施する。</li> </ul>
<b>2 認知症高齢者支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援等）</li> <li>・認知症サポーターの養成や徘徊模擬訓練等により認知症の理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。</li> </ul>
<b>3 障害と介護の連携</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害サービスから介護サービスに不安なく移行できるよう関係機関の連携により個別の対応を丁寧に進める。</li> </ul>
<b>4 地域支援体制の強化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・保健福祉支援チームや生活支援コーディネーター等と連携し、地域課題に対応した支援や集いの場づくり、担い手の育成を支援する。</li> <li>・地域ケア会議、地域ケア個別会議、地域支え合い会議等を活用した関係機関のネットワークの構築、支援力の強化、必要な地域資源の創出等への取組を行う。</li> </ul>
<b>5 包括的相談支援体制の強化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口の周知に努め、高齢者だけではなく、子どもから高齢者まで複合的課題を抱える世帯からの相談に対応する。</li> <li>・地域住民や関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行う。</li> </ul>
<b>6 障害者や子ども等の関係機関との連携の拡大・強化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に関する関係機関のみならず、障害者や子ども等の関係機関との連携を拡大・強化する。</li> <li>・保健・医療・福祉分野を越えた機関とのネットワークを構築する。</li> </ul>

○成果指標については、地域の特性等に応じて各地域包括支援センターが設定することとします。

## 令和2年度 高齢者総合相談センター業務実績報告書

## 【 1 総合相談支援業務 】

## (1) 総合相談の件数及び把握経路

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
訪問	新規	12	140	27	27	109	69	9	8	113	9	523
	延べ	1,260	3,363	1,141	1,193	2,552	748	566	966	1,351	1,236	14,376
電話	新規	160	231	111	116	175	96	47	49	154	203	1,342
	延べ	2,899	5,715	2,042	1,808	4,490	617	1,395	1,076	1,414	1,269	22,725
来所	新規	43	60	56	46	44	40	11	5	72	33	410
	延べ	228	259	170	139	476	82	85	57	157	126	1,779
文書・メール	新規	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	延べ	43	0	23	0	0	0	13	44	0	54	177
その他	新規	2	0	2	1	0	0	2	7	0	0	14
	延べ	33	0	134	16	0	0	141	36	2	0	362
合計	新規	219	431	196	190	328	205	69	69	339	246	2,292
	延べ	4,463	9,337	3,510	3,156	7,518	1,447	2,200	2,179	2,924	2,685	39,419

## (2) 周知啓発活動

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
総合相談センターについて	回数	7	39	26	3	0	0	34	23	12	39	183
	対象者数	174	632	387	35	0	0	227	1,170	195	2,544	5,364
地域づくりに関すること	回数	0	0	1	17	5	0	11	3	0	3	40
	対象者数	0	0	67	301	101	0	150	111	0	69	799
新総合事業について	回数	0	7	1	0	0	0	0	1	1	0	10
	対象者数	0	97	10	0	0	0	0	30	6	0	143
介護予防に関すること	回数	1	4	1	35	1	1	3	6	2	12	66
	対象者数	25	24	10	408	10	9	37	108	17	78	726
認知症に関すること	回数	3	7	6	5	4	0	2	16	4	0	47
	対象者数	145	122	141	75	90	0	14	394	27	0	1,008
高齢者虐待防止に関すること	回数	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	対象者数	0	87	0	0	0	0	0	0	0	0	87
成年後見制度に関すること	回数	0	5	3	0	0	0	4	0	0	0	12
	対象者数	0	87	51	0	0	0	25	0	0	0	163
消費者被害に関すること	回数	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	5
	対象者数	0	0	500	0	0	33	0	20	0	0	553
終活に関すること	回数	1	1	3	0	1	0	1	0	1	0	8
	対象者数	48	2	503	0	1	0	13	0	4	0	571
その他	回数	2	26	14	14	0	1	10	0	112	41	220
	対象者数	70	632	139	138	0	13	106	0	322	480	1,900
合計	回数	14	94	56	74	11	5	65	50	132	95	596
	対象者数	462	1,683	1,808	957	202	55	572	1,833	571	3,171	11,314

## 【2 包括的・継続的ケアマネジメント】

## (1) サービス担当者会議

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
サービス担当者会議の出席回数	103	267	46	92	201	87	44	42	152	136	1,170

## (2) 同行訪問による介護支援専門員等への支援

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
直営担当ケアマネジメント	0	2	20	5	0	0	0	0	15	13	55
委託分ケアマネジメント	1	1	7	1	0	0	2	1	26	15	54
支援困難事例の後方支援	0	322	5	0	76	8	3	9	15	43	481
その他	0	1	7	0	0	0	1	0	5	0	14
<b>合計</b>	<b>1</b>	<b>326</b>	<b>39</b>	<b>6</b>	<b>76</b>	<b>8</b>	<b>6</b>	<b>10</b>	<b>61</b>	<b>71</b>	<b>604</b>

## (3) ケアプラン作成指導を通じた介護支援専門員等への支援

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
介護予防ケアマネジメントのプラン確認数	70	93	150	77	594	314	30	46	240	118	1,732
介護予防ケアマネジメントの評価表確認数	252	399	752	357	657	856	203	148	364	483	4,471
(予防)プラン作成指導を通じたケアマネジメント指導	0	1	0	1	1	2	0	23	17	14	59
(介護)プラン作成指導を通じたケアマネジメント指導	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4
<b>合計</b>	<b>322</b>	<b>493</b>	<b>902</b>	<b>435</b>	<b>1,252</b>	<b>1,172</b>	<b>233</b>	<b>217</b>	<b>624</b>	<b>616</b>	<b>6,266</b>

## (4) 研修会等に関する状況

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
ケアマネジメントの質の向上のための研修会の回数	3	2	31	14	2	2	2	2	2	32	92
多職種の連携に関する研修会や事例検討会、会議等の回数	11	19	14	23	0	5	0	2	23	65	162
<b>合計</b>	<b>14</b>	<b>21</b>	<b>45</b>	<b>37</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>25</b>	<b>97</b>	<b>254</b>

## (5) 地域ケア会議

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
地域ケア個別会議の開催回数	6	2	4	8	16	0	0	0	8	1	45
ブロック会議の開催回数	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	11
<b>合計</b>	<b>7</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>9</b>	<b>17</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>56</b>

## (6)他機関との連携

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
退院情報連絡システム	14	49	83	58	0	10	0	0	32	68	314
非該当への対応	0	1	9	8	0	0	0	0	0	0	18
合計	14	50	92	66	0	10	0	0	32	68	332

## 【 3 介護予防支援及び介護ケアマネジメント 】

給付管理件数

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
直 営	新 規	32	64	39	57	35	18	23	23	41	54	386
	継 続	1,261	2,064	1,001	1,097	924	814	612	727	1,276	2,013	11,789
	終 了	26	68	38	76	3	10	16	7	19	18	281
委 託	新 規	28	44	65	36	63	82	19	15	39	48	439
	継 続	994	1,492	1,959	1,108	2,261	2,863	717	625	1,485	1,553	15,057
	終 了	38	27	80	77	26	36	21	14	34	21	374
合計		2,251	3,569	2,946	2,145	3,254	3,731	1,334	1,369	2,788	3,629	27,016

## 【 4 権利擁護業務 】

(1)権利擁護に関する対応

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
法定成年後見制度	新 規	1	1	0	2	7	2	0	1	4	4	22
	延 べ	2	2	1	2	0	5	0	2	12	9	35
	専門機関につながった	0	0	0	0	7	1	0	0	5	3	16
任意後見人制度	新 規	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	延 べ	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	5
	専門機関につながった	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
地域福祉権利擁護事業	新 規	0	6	0	0	1	2	1	1	2	2	15
	延 べ	0	30	0	3	0	6	1	1	4	4	49
	専門機関につながった	0	9	0	0	0	1	1	0	1	3	15
消費者被害	新 規	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	延 べ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	専門機関につながった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終活に関すること	新 規	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	延 べ	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	専門機関につながった	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	新 規	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	延 べ	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	5
	専門機関につながった	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
合計	新 規	2	12	0	2	8	5	1	1	6	7	44
	延 べ	3	42	1	6	0	12	1	3	17	15	100
	専門機関につながった	1	10	0	1	7	2	1	0	7	6	35

## よりそい法律相談

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
法テラス	0	4	1	0	11	2	0	2	0	0	20
法テラス外	2	3	2	3	0	0	0	0	0	0	10
包括	0	0	0	0	0	5	0	2	2	5	14
<b>合計</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>11</b>	<b>7</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>44</b>

## (2) 養護者による高齢者虐待の通報件数

## 通報経路

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
高齢者本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
虐待者本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族親族	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
民生委員	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
住民知人	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
関係機関	0	0	1	0	0	2	0	2	1	0	6
警察	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3
医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>合計</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>14</b>

## 令和2年度（2020年度） 宇部市地域包括支援センター事業実施報告

## 1 担当する圏域の課題に対する取り組み

センター名	具体的な取組
東部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・保健福祉支援チームと協働して店舗での看護師や保健師、社会福祉士、介護支援専門員による健康や福祉、生活等に対する相談対応や地域の課題等の把握。</li> <li>・サロン参加者や地域住民、小中学校等を対象として認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に対する理解や知識の醸成に努めた。（3か所/2か所）</li> <li>・障害サービスから介護サービスへスムーズに移行できるように障害圏域相談事業所や関係機関と情報交換や連携・調整を図った。</li> <li>・地域・保健福祉支援チーム・社会福祉協議会と協働、福祉なんでも相談担当者等と連携し、地域ケア会議や個別の地域ケア会議等で地域課題の抽出を図り、必要な支援や社会資源の創出に取り組みを行った。（7回/5回以上）</li> </ul>
東部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を対象とした介護予防・健康づくりに関する知識の提供、普及啓発への取り組み。（介護健康教室、健康相談窓口参加者数 297/500名）</li> <li>・認知症高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため早期の相談や家族の支援体制の強化。地域拠点における新たな相談窓口の設置や地区内において認知症カフェを行い、認知症の方や家族、支援者が集まって悩み等を話せる場作り。（利用者・支援者が集える場開設 1箇所/1箇所、ケアラズカフェおしゃべりガーデン設立支援）</li> <li>・地域団体代表者による「支え合い会議」を継続開催し、地域のネットワーク構築。地域ケア個別会議による個別ケースの検討について積極的に行い、地域課題や効果的な取り組み、手法等について広く共有することにより、地域全体の支援やケア力の向上を図った。（地域支え合い会議 西岐波 1回/3回、常盤 6回/3回）</li> </ul>
西部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の理解を深めるため、関係機関と地域住民に対して認知症サポーター養成講座の開催や認知症SOS模擬訓練、認知症カフェ（おれんじかぞく）の継続実施。</li> <li>・認知症サポーター養成講座（7/1 西宇部地区民協福祉協 42人、8/5 上開作自治会 27人、10/13鍋倉自治会 21人、迫条自治会 7人）</li> <li>・11/17 リモートにて認知症カフェを実施（西部第2包括、YICリハビリテーション大学校、市高齢者総合支援課、北部西地域包括支援センター、市厚南支援チーム、認知症家族会と連携）</li> </ul>
西部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5か所の健康教室で、運動機能向上を目指して体操や体力測定等を行った。（健康教室、サロン開催 38回/434人）</li> <li>・サロンや健康教室等、地域住民が集まる場所で、総合事業の説明を行い、普及・周知活動を実施。（ご近所福祉 開催10回/92人）</li> <li>・自治会および中学校で、黒石見守りネットワーク推進協議会や地域・保健福祉支援チームと、認知症サポーター養成講座を開催。</li> <li>・認知症カフェ（おれんじかぞく）を年2回開催（認知症サポーター養成講座開催2回/33名、認知症サポーターステップアップ研修1回/20人）</li> </ul>



<p><b>中部第 1</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民からの相談や自治会の役員・民生委員との連携を通じて、地域課題に取り組んだ。(民生委員 訪問179件、来所26件、電話142件)</li> <li>・障害サービスから介護サービスへ移行できるように関係機関と連携し、課題解決を図った。(閉じこもり 2件、障害B型3件)</li> </ul>
<p><b>中部第 2</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のサロンや健康教室、地域の集まりの場で介護予防・健康づくりに関する情報提供や介護予防・日常生活支援総合事業の普及・周知活動を実施。(サロン開催：1か所、8回 参加：3か所、14回) (健康講話・体操を実施：9回)</li> <li>・地域・保健福祉支援チームや関係機関と連携し、地域支え合い会議等への参加、地域課題の抽出、解決に向けた取り組みや対策についての協議。集いの場とその担い手の育成等、地域で見守っていく支援体制の構築。(支え合い会議 新川：6回、藤山：0回、鶺の島：7回) &lt;新川&gt;住民茶話会を開催：2回 &lt;鶺の島&gt;うのしま美術館開催：2回鶺の島小花壇花いっぱいボランティア参加：2回、地域交流(ラジオ体操参加)：5回&lt;藤山&gt;民生委員定例会参加：1回</li> </ul>

## 令和2年度（2020年度） 地域包括支援センター事業実施報告 一覧表

地域包括支援センター名	重点項目（①は必須・②～④で1つ選択）			
	①地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進	②認知症高齢者支援	③障害と介護の連携	④地域支援体制の強化
東部第1	○	○	○	○
東部第2	○	○	○	○
西部第1	○	○	○	○
西部第2	○	○	○	○
中部第1	○	○	○	○
中部第2	○	○	○	○
北部東	○	○	○	○
北部西	○	○	○	○
南部第1	○	○	○	○
南部第2	○	○	○	○

## 第1号介護予防支援事業に係る公正・中立性評価基準

公正・中立性の観点から 留意する項目 (評価項目)	指標	評価基準
第1号介護予防支援事業	<p>正当な理由なく、所属する法人内当該地域包括支援センターが第1号介護予防支援事業を実施しない。</p> <p><b>【対象者】</b> 給付管理実績のある居宅介護支援事業所への委託を含む全利用者</p> <p><b>【基準】</b> 市の委託事業開始前年度3月分の給付実績で判定する。 (北部2圏域：平成24年3月/東部・西部及び中部圏域：平成25年3月/南部圏域：平成29年3月)</p> <p><b>【判定時点】</b> 当該年度3月分の給付実績を判定時点とする。 ※上記に加えて、次回委託法人募集時については、募集開始直近月の給付実績を判定時点とする。</p> <p><b>【判定方法】</b> ①第1号訪問事業を位置づけた全利用者のうち、当該地域包括支援センターが所属する法人(事業所)を位置づけた利用者数の割合 ②第1号通所事業を位置づけた全利用者のうち、当該地域包括支援センターが所属する法人(事業所)を位置づけた利用者数の割合</p>	<p>判定時点において、判定方法の①及び②を合わせた割合が、基準時点の判定方法の①及び②を合わせた割合と比較し、上昇率が10%未満である。 ただし、上記上昇率が10%以上であっても、正当な理由(※)がある場合は除く。</p>
	<p>※正当な理由 1 複数の事業所を紹介するなど適切なケアマネジメントを通じ利用者の希望を勘案した結果、当該法人(事業所)に集中している場合(この場合、利用者が自ら希望したサービスであることの証明書面の徴収を求める。) 2 事業所が廃止された場合</p>	

※この評価基準については、随時、宇部市地域包括支援センター運営協議会に諮り、必要な見直しを実施する。

**令和2年度（2020年度）**  
**宇部市地域包括支援センター**  
**収支決算書**

## 令和2年度（2020年度） 地域包括支援センター収支決算書 まとめ

(円)

地域包括支援センター		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	
運営法人		社会福祉法人 光栄会	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同組 合 健文会	医療法人 仁心会	
歳入	包括的支援事業	20,420,880	23,031,263	23,105,530	21,050,420	17,500,420	23,404,480	14,048,559	14,232,000	23,011,418	23,662,110	
	指定介護予防支援事業	6,574,939	9,852,280	6,876,010	5,441,710	15,044,857	9,712,540	3,922,729	4,793,952	8,211,675	9,154,350	
	歳入合計	26,995,819	32,883,543	29,981,540	26,492,130	32,545,277	33,117,020	17,971,288	19,025,952	31,223,093	32,816,460	
歳出	人 件 費	包括的支援事業	13,304,125	17,794,482	19,356,627	14,829,255	17,361,347	18,364,684	12,476,954	11,179,652	16,048,943	15,253,586
		指定介護予防支援事業	4,401,574	5,043,592	2,279,828	2,960,147	4,989,135	1,594,477	2,664,022	2,571,300	5,727,100	5,901,277
		計	17,705,699	22,838,074	21,636,455	17,789,402	22,350,482	19,959,161	15,140,976	13,750,952	21,776,043	21,154,863
	事 務 費	包括的支援事業	7,116,755	5,258,406	7,965,548	6,221,165	139,073	5,039,796	1,571,605	3,052,348	6,962,475	8,408,524
		指定介護予防支援事業	824,281	4,787,063	3,218,466	2,714,969	10,055,722	8,118,063	3,610,780	2,222,652	2,484,575	3,253,073
		計	7,941,036	10,045,469	11,184,014	8,936,134	10,194,795	13,157,859	5,182,385	5,275,000	9,447,050	11,661,597
	歳出合計	25,646,735	32,883,543	32,820,469	26,725,536	32,545,277	33,117,020	20,323,361	19,025,952	31,223,093	32,816,460	
収支差額		1,349,084	0	-2,838,929	-233,406	0	0	-2,352,073	0	0	0	

## 【再掲】 包括的支援事業（市受託分について）

(円)

地域包括支援センター		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2
運営法人		社会福祉法人 光栄会	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同組 合 健文会	医療法人 仁心会
歳入	委託料	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	11,758,000	11,758,000	16,704,000	16,704,000
	介護予防ケアマネジメント 費収入	3,714,880	6,111,300	6,401,530	4,346,420	796,420	6,700,480	2,290,510	2,473,000	4,500,460	6,958,110
	その他の収入	2,000	215,963	0	0	0	0	49	1,000	1,806,958	0
	合計	20,420,880	23,031,263	23,105,530	21,050,420	17,500,420	23,404,480	14,048,559	14,232,000	23,011,418	23,662,110
歳出	人件費	13,304,125	17,794,482	19,356,627	14,829,255	17,361,347	18,364,684	12,476,954	11,179,652	16,048,943	15,253,586
	事務費	7,116,755	5,258,406	7,965,548	6,221,165	139,073	5,039,796	1,571,605	3,052,348	6,962,475	8,408,524
	合計	20,420,880	23,052,888	27,322,175	21,050,420	17,500,420	23,404,480	14,048,559	14,232,000	23,011,418	23,662,110
差引収支額		0	-21,625	-4,216,645	0	0	0	0	0	0	0

**令和2年度（2020年度）**

**介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント**

**委託先一覧**

## 令和2年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧( 東部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会医療法人 いち樹会	尾中病院居宅介護支援事業所	4月			12		12
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	1		2	12	15
有限会社エムエッチティー企画	あじす陽だまりの家居宅介護支援事業所	4月			11		11
社会福祉法人 光栄会	日の山園在宅介護支援センター	4月	3	1	118	50	172
株式会社 ニチイ学館	ニチイケアセンター西岐波	4月			10		10
株式会社 河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月	1		3		4
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月		1		7	8
株式会社妃先介護事業所	ケアマネセンター春	4月			12		12
医療法人 太白会	シーサイド病院居宅介護支援事業所	4月			21		21
社会福祉法人 むべの里	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月	1	1	13	23	38
ホームナース立花	立花居宅介護支援事業所	4月			14	22	36
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月			12		12
社会福祉法人 光栄会	オパール光栄在宅介護支援センター	4月		3	44	63	110
社会福祉法人 光栄会	あすとびあ光栄在宅介護支援センター	4月	1		37	38	76
有限会社 くばた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1		16		17
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月			8		8
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月			22	12	34
社会福祉法人 光栄会	ケアタウン日の山園在宅介護支援センター	4月	1	1	47	36	85
合同会社 いまむら	いまむら居宅介護支援事業所	4月	2		52		54
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	1		5	7	13
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月			20	16	36
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス海の家	4月			32	24	56
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス宇部南	4月			12		12
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑	4月				12	12
株式会社レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月					
一般社団法人宇部医師会	宇部医師会在宅介護支援センター	4月			12	8	20
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun To Life	4月	1	1	59	7	68
社会福祉法人 ひとつの会	宇部あいおい苑	4月					
合同会社 ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	1		2		3
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月					
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月			12		12
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月			11		11
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月		1	12	3	16
特定非営利活動法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	1	1	5	2	9
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所 博愛園	4月		1		11	12
合同会社 和奏の響	居宅介護支援センター 結和	12月	1		3		4
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	2月	1		1		2
<b>総計</b>	<b>37事業所</b>		<b>17</b>	<b>11</b>	<b>640</b>	<b>353</b>	<b>1021</b>

## 令和2年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(東部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
医療生活協同組合 健文会	宇部協立在宅介護支援センター	4月			56	11	67
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月			42	33	75
	むべの里居宅介護支援事業所 博愛園	4月		1	13	22	36
	むべの里居宅介護支援事業所 はぎわら	4月	2	1	133	104	240
社会福祉法人 光荣会	あすとぴあ光荣在宅介護支援センター	4月				12	12
	パール光荣在宅介護支援センター	4月				12	12
(株)河村福祉サービス	(株)河村福祉サービス	4月	1		28	24	53
	(株)河村福祉サービス 海の家	4月			37		37
	(株)河村福祉サービス 宇部南	4月	3		24	9	36
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月		1		2	3
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所 宇部あいおい苑	4月			12	0	12
生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	2		24	17	43
(株)ニチイ学館	ニチイケアセンター 西岐波	4月		1	5	2	8
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	1	3	191	65	260
医療法人 和同会	宇部リハビリテーション病院在宅介護支援センター	4月	1		9		10
	宇部西在宅総合支援センター	4月			12		12
社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	1	1	63	21	86
(株)愛憂会	ケアマネセンター 未来	4月			12		12
合同会社いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月	5	1	64	14	84
有限会社 片倉温泉 くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1		27	12	40
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	1	1	30	5	37
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月			12	13	25
社会福祉法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月				7	7
山口アロマ石油(株)	ドリームライフアロマ居宅介護支援事業所	4月			12		12
合同会社 和み会	なごみ居宅介護支援事業所	4月		1	13	11	25
ナースホーム立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月			12		12
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月		3	12	35	50
合同会社 ひだまりねっと	合同会社 ひだまりねっと	4月	1		11		12
医療法人 太白会	シサイト 病院居宅介護支援事業所	4月	1		10		11
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun to Life	4月	3	3	44	68	118
社会医療法人	尾中病院居宅介護支援事業所	4月			12		12
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月			7		7
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月	1		5		6
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	2		33	12	47
レナール企画	昭和町共生苑在宅介護支援センター	6月	1		0		1
株式会社マイプティット	なのはなの家	12月	1		3		4
<b>総計</b>	<b>36 事業所</b>		<b>28</b>	<b>17</b>	<b>968</b>	<b>511</b>	<b>1,524</b>



## 令和2年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(西部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	1	1	213	73	288
社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	2		26	1	29
社会福祉法人むべの里	居宅介護支援事業所 むべの里厚南	4月	2		49	34	85
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月			24	3	27
有限会社フレンドサービス	フレンドサービス	4月			18		18
山口宇部農業協同組合	JA山口宇部居宅介護支援事業所	4月			12	3	15
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月			28	17	45
サキ・エルビィ株式会社	サキ・エルビィ介護センター宇部	4月			48	12	60
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	1		25	12	38
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月			57	6	63
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月			12		12
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月		1	24	13	38
合同会社 壱番館	ケアマネセンター-TONTON	4月	5		39	1	45
(有)アシステッドリビング村重	山ぼうし居宅介護支援事業所	4月			5	12	17
社会福祉法人むべの里	むべの里在宅介護支援センター東芝中	4月			12		12
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	1		56	24	81
有限会社 希	居宅介護支援事業所 のぞみ	4月			12		12
株式会社 愛優会	ケアマネセンター 未来	4月				12	12
社会福祉法人博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月				12	12
特定営利法人 きょう・生	ケアマネセンター共生	4月				24	24
社会福祉法人むべの里	居宅介護支援事業所中山	4月			24	12	36
三和ヒューマンサポート(株)	西日本ケアプランセンター	4月			12		12
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月			1	12	13
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月			12		12
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月				12	12
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所まどか園	4月			2	11	13
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス 海の家	4月			14	19	33
サキ・エルビィ株式会社	サキ・エルビィ介護センター小野田	4月			44	6	50
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス 宇部南	4月	1		25	4	30
社会福祉法人むべの里	むべの里在宅介護支援センター博愛園	4月	2			2	4
合同会社優勇会	総合ケアセンターゆう	4月			100	24	124
社会福祉法人むべの里	むべの里居宅介護支援事業所	4月	4	13	8	666	691
株式会社 サクラ	ケアハウス 桜	8月	1		2		3
NPO法人ふらっとコミュニケーション	ここからサポートセンター	9月		1	10	1	12
社会福祉法人むべの里	輝きの里 居宅介護支援事業所	11月			3	57	60
社会福祉法人アスワン	アスワン山荘居宅介護支援事業所	R3・1月	1				1
<b>総計</b>	<b>36事業所</b>		<b>21</b>	<b>16</b>	<b>917</b>	<b>1085</b>	<b>2039</b>



## 令和2年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(中部1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
(社) むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	5	15	390	435	845
一般社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	3	2	84	51	140
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援センター	4月	2	1	119	91	213
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月			41	17	58
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月			50	30	80
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月			34	9	43
社会医療法人いち樹会尾中病院	社会医療法人尾中病院	4月	2		22		24
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月			12	12	24
(社) むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月		2		37	39
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月		1	11	2	14
(社) むべの里光栄	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月	1		28	12	41
山口アポロ株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	1		7	12	20
医療法人 和同会	宇部西在宅介護支援センター	4月			21	6	27
株式会社レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月			25		25
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス海の家	4月		1	50	29	80
医療法人博愛会	寿光園指定介護支援事業所	4月	2		18		20
医療法人仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月			12	8	20
(社) むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	2	2	107	54	165
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月		3	12	4	19
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月		1		9	10
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月		1		22	23
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月		1		2	3
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	2	3	137	66	208
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	1		6	2	9
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所宇部あいおい苑	3月				12	12
合同会社 和みの会	なごみ居宅介護支援事業所	4月			12	12	24
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月			19	12	31
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネセンターfun to life	4月			12	7	19
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス宇部南	4月		1	12	15	28
(社) むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所中山	4月			24	12	36
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護事業所まどか苑	4月				12	12
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院	4月			5		5
株式会社 サクラ	ケアハウス桜ケアマネセンター	4月		2			2
株式会社アパテイ	ケアプランセンター えびすや	12月	1		1		2
(社) むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	11月				5	5
合同会社 和奏の会	居宅介護支援事業所結和	12月	2		2		4
株式会社 マイブティット	在宅介護支援センターなの花の家	9月	3			19	22
サンキウエルビイ株式会社	サンキウエルビイ 介護センター宇部	4月					
<b>総計</b>	<b>38事業所</b>		<b>27</b>	<b>36</b>	<b>1,273</b>	<b>1,016</b>	<b>2,352</b>



## 令和2年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(中部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
株式会社 YICトラスト	居宅介護支援事業所 希望苑	4月				1	1
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	5	3	93	59	160
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月	4	1	75	65	145
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月			24		24
社会医療法人 いち樹会	尾中病院	4月			57	1	58
一般社団法人 宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	1		3	6	10
特定非営利活動法人きょう・生	ケアマネセンター共生	4月			12	12	24
医療法人 和同会	宇部西在宅総合センター	4月	1		99	39	139
株式会社 レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	3	1	31	37	72
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月		1	19	22	42
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	1		58	8	67
合同会社 ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	1		6	12	19
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	1		73	3	77
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	1		30	12	43
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター 春	4月	3	1	87	75	166
合同会社 ガンホーズ	指定居宅介護支援事業所 たけのこ	4月			12		12
株式会社 ニチイ学館	ニチイケアセンター 西岐波	4月	1		20		21
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月	1		32		33
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月		1	16	13	30
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所 まどか苑	4月	1		16	28	45
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	1	2	24	5	32
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月	2	2	28	49	81
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	4		36	10	50
合同会社 美咲	居宅介護支援事業所 美咲	4月	1		42	7	50
合同会社 優勇会	総合ケアセンター ゆう	4月			12	1	13
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	5月			1		1
医療生活協同組合 健文会	虹の居宅介護支援事業所	4月			12		12
特定非営利活動法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月		2	26	4	32
合同会社 和奏の響	居宅介護支援センター 結和	12月	2		7		9
株式会社 マイブティット	在宅介護支援センター なのはなの家	9月	2		39		41
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun to Life	2月			1		1
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	2月			2		2
合同会社 壱番街	ケアマネセンター TONTON	6月	1		23		24
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	3月		1	0		1
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月		8	19	223	250
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 厚南	4月		0	12	31	43
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 博愛園	4月	2	1	155	46	204
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月		1	70	50	121
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 中山	4月	1	2	38	81	122
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 輝き	11月			0	15	15
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月	1		65	38	104
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス 海の家	4月	0		44	51	95
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス 宇部南	4月	2	4	104	108	218
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月			88	14	102
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	1		75	26	102
<b>総計</b>	<b>45事業所</b>		<b>44</b>	<b>31</b>	<b>1,686</b>	<b>1,152</b>	<b>2,913</b>

## 令和2年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(北部東包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人 アスワン山荘	アスワン山荘居宅支援事業所	4月	3		132	68	203
山口宇部農業協同組合	J A 山口宇部居宅介護支援事業所	4月			18	12	30
山岸内科	ケアホーム小郡ケアマネセンター	4月	2		38	39	79
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月			42	12	54
医療法人泉仁会	在宅介護支援センター豊生苑	4月	5		141	39	185
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月		1	21	13	35
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月	1			26	27
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月	3			34	37
社会福祉法人むべの里	むべの里居宅介護支援事業所	4月		1	12	11	24
社会福祉法人むべの里	むべの里居宅介護事業所厚南	4月			24		24
合同会社ブルーローズ	居宅介護支援事業所たいむ	4月			2		2
株式会社 さわなみ	さわなみ居宅介護支援センター	7月	2		14		16
<b>総計</b>	<b>12事業所</b>		<b>16</b>	<b>2</b>	<b>444</b>	<b>254</b>	<b>716</b>

## 令和2年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(北部西包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人 扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	5	1	158	20	184
株式会社 愛優会	ケアマネセンター未来	4月		1	96	100	197
有限会社 希	居宅介護支援事業所 のぞみ	4月		1	24	46	71
合同会社 優勇会	総合ケアセンター ゆう	4月			38	16	54
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月			12		12
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月			17		17
合同会社 ブルーローズ	居宅介護支援事業所 たいむ	4月			11		11
医療法人社団 泉仁会	居宅介護支援事業所 豊生苑	4月	1		18		19
有限会社 楽庵	ケアマネセンター 楽庵	4月	1	4	14	44	63
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月				1	1
一般社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	7月	1		3		4
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	9月			7		7
<b>総計</b>	<b>12事業所</b>		<b>8</b>	<b>7</b>	<b>398</b>	<b>227</b>	<b>640</b>



## 令和2年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(南部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
合同会社いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月			36	12	48
社会福祉法人ひとつの会	宇部あいおい苑	4月	1		19	15	34
社会福祉法人博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月			1	12	13
一般社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	2	1	48	37	85
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月			12		12
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月				12	12
株式会社レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	1	1	69	38	107
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月	1		27	12	39
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	1		30		30
社会福祉法人神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	2	1	103	101	204
医療生活協同組合健文会	協立在宅介護支援センター	4月	6	1	85	23	108
合同会社かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月	1		42	12	54
合同会社ひだまりねっと	合同会社ひだまりねっと	4月			20	12	32
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月			5	32	37
社会医療法人いち樹会	いち樹会 尾中病院居宅介護支援事業所	4月	3		39		39
医療法人博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月			12		12
医療法人仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	1		87	73	160
社会福祉法人むべの里	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	1	6	30	113	143
社会福祉法人むべの里	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	1	1	140	62	202
社会福祉法人むべの里	むべの里居宅介護支援事業所	6月		1	2	6	8
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	10月			9		9
合同会社美咲	居宅介護支援センター 美咲	4月			6		6
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス海の家	4月		1	44	2	46
株式会社 きわなみ	株式会社 きわなみ	4月			12		12
社会福祉法人光栄会	あすとびあ光栄在宅介護支援センター	4月				12	12
合同会社HACNAMATATA	ケアマネステーションFun To Life	4月			12		12
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス宇部南	4月	1		22	13	35
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	1月	1		27	12	39
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター	5月		1		10	10
株式会社マイプティット	在宅介護支援センターなのはなの家	9月	2		11		11
社会福祉法人光栄会	オパール光栄在宅介護支援センター	10月	1		1		1
合同会社和奏の響	居宅介護支援センター結和	12月			4		4
	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	1		14		14
<b>総計</b>	<b>33事業所</b>		<b>27</b>	<b>14</b>	<b>969</b>	<b>621</b>	<b>1590</b>



**令和3年度（2021年度）  
宇部市地域包括支援センター  
事業計画**

## 令和3年度 宇部市地域包括支援センター事業実施方針

宇部市では、第8期宇部市高齢者福祉計画の中で、基本理念（目指すまちの姿）として『高齢者が「元気」「活躍」「イキイキ」と世代を超えて支え合う、地域共生のまち・うべ』を掲げています。

地域包括支援センターは、上記の基本理念を実現するために、地域の現状・課題を捉え、その課題を解決するために事業を実施することとします。

令和3年度本事業を実施するにあたり、地域包括支援センターは下記の重点施策に取り組みます。

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が介護予防について関心を持ち、普段の生活の中で積極的に取り組むことができるよう、介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。</li> <li>・身近な地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、高齢者の健康課題の把握とフレイル予防に着眼した支援を行い、保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。</li> </ul>
2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症になってもできる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援等）</li> <li>・チームオレンジの基盤となる認知症サポーターの養成等により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。</li> </ul>
3 地域支援体制の強化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員や関係機関等とともに高齢者が孤立することのないよう地域での見守り支援を行う。</li> <li>・生活支援コーディネーターや住民等と協働で地域支え合い会議を開催し、地域課題の把握や解決に向けた協議を行う。</li> </ul>
4 相談窓口の周知と相談アクセスの向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な方が必要な時に相談できるよう窓口の周知に努めるとともに身近な場所での相談会の開催など相談アクセスの向上に努める。</li> <li>・必要な情報がだれでも受け取れるよう情報をわかりやすく伝える工夫や効果的な発信方法を工夫する。</li> </ul>
5 気づきが支援につながる分野を超えた地域連携ネットワークの強化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の気づきを支援につなげていくために福祉分野のネットワークに限らず、地域住民や銀行、宅配業者等地域事業者との分野を超えたネットワークの拡大・強化を図る。</li> </ul>

○成果指標については、地域の特性等に応じて各地域包括支援センターが設定することとします。

## 令和3年度（2021年度）地域包括支援センター事業計画一覧

地域包括支援センター名	重点項目				
	介護予防に関する正しい知識の普及と実施	認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）	地域支援体制の強化	相談窓口の周知と相談アクセスの向上	気づきが支援につながる分野を超えた地域連携ネットワークの強化
東部第1	○	○	○		
東部第2	○	○	○		
西部第1	○	○	○		
西部第2	○	○	○		
中部第1	○	○	○		
中部第2	○	○	○		
北部東	○	○	○		
北部西	○	○	○		
南部第1	○	○	○		
南部第2	○	○	○		

## 令和3年度 地域包括支援センター事業計画書

## 宇部市東部第1地域包括支援センター

## 現状・課題

## 〔宇部市〕

宇部市の前期高齢者の認定率は4.5%と、県の平均と比べて0.6%高くなっており、今後も介護や支援を必要とする人の増加が見込まれる。また、高齢者の運動機能の低下や閉じこもりの傾向が見られるため、地域での活動の場の提供や「生きがい」を感じることができる環境づくりが必要となっている。

## 〔東岐波校区〕

総人口は12,322人（R3.4.1現在）で高齢化率は33.9%。古くは農業や漁業が盛んであったが最近では田畑が減り住宅地が増えてきている。若い世代も多く住んでいるが日中は仕事や学校で不在のことが多く高齢者や認知症を抱えた方の見守る人は少ない。また、コロナ禍であり自宅で過ごす時間が多くなり高齢者の意欲低下や身体機能の低下を自覚される方も増えてきた。物理的環境では金融機関や医療機関、スーパーは国道沿いに集中しており国道から離れた地区では移動手段に困る方のための地域内交通がある。徐々に乗車率は増えている。宅配弁当や移動販売を利用されている方も増えてきた。コロナ禍となりサロン活動も再開しているところもあるが休止しているところもあり集う場所が減ってきている。

## 〔川上校区〕

総人口は7,730人（R3.4.1現在）で高齢化率は28.0%。団地が多く新興住宅地の開発やUターン等で若い人が移り住む傾向がある。団地によっては近所付き合いが希薄なところが多い。移動手段は自家用車やバス・タクシーだが坂道が多いところもあり外出に困る方も多い。コープやスーパーの移動販売を活用される高齢者が増えている。シニア連等の活動もあり健康に対する意識が高い人も多くなっている。

## 目標（目指す姿）

- ・サロンや集う場所など地域住民の中に積極的に出向いていき気軽に相談しやすいように顔なじみの関係を作る。また、相談窓口の啓発を行っていく。
- ・民生児童委員や福祉委員や地域・保健福祉支援チームなど専門職と情報共有し地域の情報や課題の発見に努めるとともに連携し解決に向けて取り組んでいく。
- ・介護予防や健康に対する意識づけのためにサロンや支えあい会議等でチラシや講話、情報提供を行う。専門職団体の協力も得られるように各関係団体と連携を図る。
- ・コロナ禍で感染予防を図りながら休止しているサロン再開や新たなサロン立ち上げができるよう地域住民や何でも相談員や社会福祉協議会、地域・保健福祉支援チームと連携して取り組んでいく。
- ・認知症の方やその家族が地域で安心して生活できるように地域住民やスーパーやコンビニ等に認知症に対する理解を深めてもらうとともに見守り体制の仕組みづくり。

## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集う場所で相談窓口、介護予防や健康づくりについて啓発する（6回以上）</li> <li>・地域で行っているサロン（6か所）や認知症カフェ（1か所）、その他のサロンに積極的に参加する</li> <li>・医療や保健・福祉など専門職と連携し健康に対する意識の向上やフレイル予防の支援を行う。（3回以上）</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーや金融機関等でコロナ感染予防を行いながら東部第2包括、地域・保健福祉支援チームと協力しながらチラシ等を用いて相談窓口や介護予防、健康づくりの啓発を行う。</li> <li>・既存のサロンや認知症カフェに参加し健康や介護に対する相談や講話、適切な機関につなげる</li> <li>・包括の専門職や地域・保健福祉支援チーム、専門職派遣制度を利用し健康や介護予防の講話、高齢者の健康測定や自宅でも取り組める運動や体操の指導を行う。</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症を抱えていても本人や支える家族や支援者が安心して生活できるように地域住民等（大人から子供まで）に認知症の症状や対応等について理解を深めてもらう。（認知症サポーター養成講座の開催各校区1回以上）</li> <li>・既存の認知症カフェへの参加や協力（6回以上）</li> <li>・認知症に関する啓発イベント開催を企画（コロナ感染状況に応じて実施するか検討する）</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや地域住民、小中学校等を対象として認知症サポーター養成講座の実施し認知症に対する理解や知識を深める。アンケートを実施し認知症に対する認識や不安等を把握し見守りや支援体制に活かす</li> <li>・既存の認知症カフェでの相談対応や新たなカフェの開催ができないか関係機関と連携、調整をしていく。</li> <li>・認知症の症状が疑われる方や適切な機関に繋がらない方に対し早期に対応できるように日ごろからケアマネジャーや民生児童委員、医療機関等と定期的に情報交換を行う。</li> <li>・認知症に対する理解を深めるために東部第2包括や地域・保健福祉支援チームや医療・福祉関係者、ボランティア等と連携して啓発イベントを行う。</li> </ul>

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や民生児童委員や福祉委員等と日ごろから顔なじみの関係性を作り日ごろから相談しやすい関係づくりを行う。（民協やサロン、地域の会議等への参加、随時）</li> <li>・高齢者等が利用するスーパーやコンビニ、金融機関とのネットワーク作りや地域包括支援センターの啓発活動を行い見守り体制の強化</li> <li>・地域支え合い会議の開催（両校区2回以上）や個別の地域ケア会議（随時）を通して地域課題を把握し地域住民や関係機関と協働し解決に向けて取り組んでいく。</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的にサロンや校区で行われる会議等に参加し地域包括支援センターの役割について啓発、職員の顔が見える、相談しやすい関係作りに取り組む。</li> <li>・何でも相談員と連携しスーパーやコンビニ、金融機関や医療機関等に地域包括支援センターの役割の説明やポスターを掲示を依頼する。</li> <li>・社会福祉協議会、地域・保健福祉支援チーム、何でも相談員と連携し支え合い会議を開催し地域課題を把握する。また、民生児童委員、地域住民等やケアマネジャーが抱える個別のケースについては個別の地域ケア会議を開催し情報共有やチームでの支援体制を作る。</li> </ul>

<p>現状・課題</p>
<p>〔宇部市〕 宇部市の前期高齢者の認定率は4.5%と、県の平均と比べて0.6%高くなっており、今後も介護や支援を必要とする人の増加が見込まれる。また、高齢者の運動機能の低下や閉じこもりの傾向が見られるため、地域での活動の場の提供や「生きがい」を感じることができる環境づくりが必要となっている。</p>
<p>〔西岐波校区〕 高齢化率が高く、高齢者人口が多い地域（宇部市1位）ではあるが、地域住民間の連帯感が強く、関係団体（民生委員、自治会、校区社協等）の連携が強い地域である。地理的には、沿岸に近い場所では台風時等には水害に遭いやすい地区や、車両が進入できない程、道幅が狭い場所があり、災害時における擁護者への対応が求められる。人口密度に地域差があり、床波地区中心部では買物場所や医療機関、公共機関が揃っているが、中心部以外では人口や買物場所等が少ない場所がある。医療機関については、総合病院を中心に往診医による往診体制が整備されている。交通については、バスの便数に限りがあり、総合病院やかかりつけ医へ受診する場合に、乗継ぎが必要になる場所がある。西岐波ふれあいセンターを中心に地区行事が多く開催されるが交通手段がない為に参加できない高齢者が存在している。校区内に高齢者が集える場所がさらに必要である。関係機関の地域支援者が高齢化となっており、次世代支援者への後継が必要となってきている。</p>
<p>〔常盤校区〕 新興住宅街もあり、比較的若い世帯が居られる地域。関係機関の地域支援者についても、西岐波と比較すると30～40代の若い支援者がいる。地理的には海拔が低い地域があり、水害に遭いやすい場所がある。特徴としては大きなスーパーがなくコンビニが点在している。買物は西岐波・恩田等に車両にて買い出しに行かれている人が多い。ご近所福祉活動（イイコトメイト）が積極的に活動され、高齢者が集まる場所となっているが、通う交通手段がない為に参加出来ない高齢者も居られ、他地域でもご近所福祉活動等の高齢者が集える場所が必要と思われる地域がある。医療機関においては、往診可能な医療機関がなく、西岐波等の医療機関に通院したり、往診を受けている状況がある。今後の高齢者支援において、地域において介護健康教室を実施したり、介護保険利用や行政サービス等、住民に向けた情報提供の場が必要である。住民（高齢者・子育て世代）へ個別健康相談の場を提供し、今後高齢化が進む地域にて、認知症サポーター養成講座を実施していく。</p>
<p>目標（目指す姿）</p>
<p>高齢者数が多く、今後も高齢者人口が増える圏域である為、住民へ介護予防や健康づくりに関する知識を提供し、意識向上を図る。また高齢者を地域で見守り・支え合う体制を構築し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることが出来る圏域を目指す。</p> <p>各種相談を総合的に応じ、より適切なサービスの調整が行えるよう、地域の中での活動を活発に展開し、より身近な相談窓口としての体制づくりに取り組む。周知活動を実施し、地域における様々な社会資源及び関係機関とのネットワーク構築に努める。</p> <p>高齢者や障害者が住み慣れた地域で暮らし続けることが出来る地域づくりを推進していく。前期高齢者等へ介護予防や健康づくりに対する知識の提供等、普及啓発活動を実施し、地域住民が主体となった健康予防や健康づくりに取り組む場の創出について取り組む。</p> <p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護健康教室、健康相談窓口の開催：地域住民を対象とした介護予防・健康づくりに関する知識の提供、普及活動に取り組む。</li> <li>・周知活動 校区500名以上：センターの機能について住民や各関係機関へ周知活動を行う。チラシ等を活用し、住民サロンや各団体会合等へ参加し周知活動を行う。</li> <li>・地域（団体・支援者）との情報共有 各校区5回：自治会連合会、コミュニティ、民生委員協議会、サロン等に参加し、校区の高齢者人口や高齢化率等の基本情報について情報共有する。個別課題や地域課題解決に向けたネットワーク構築を行う。</li> </ul>

## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉相談室の継続開催。店舗を活用した相談窓口周知活動 参加者数300名</li> <li>・地域サロン教室などあらゆる場面を活用した新総合事業の普及啓発</li> <li>・広報誌を年3回発行し、各関係団体とのネットワーク構築を行う</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を対象とした介護予防・健康づくりに関する知識の提供、普及啓発に取り組む。</li> <li>・看護師による健康福祉相談室を継続実施し、介護予防普及活動に取り組む。 ・店舗にてチラシ配布活動を行い、健康に関する知識の普及活動や相談場所の周知を行う。</li> <li>・身近な地域のサロン等、地域の集まりの場を活かした健康づくりややまぐち元気アップ体操等住民主体の取り組みを支援・推進する。</li> <li>・支え合い会議を活用しながら、地域サロンなど地域の集まりの場の創出や地域主体の取り組み、有償ボランティア立ち上げ支援について支援を行う。</li> <li>・地域サロンや校区行事、各関係団体との集まりの場を活用した新総合事業普及啓発を実施。</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座 登録者数200名以上（両校区 1回以上）</li> <li>・認知症カフェ開催に向けた取り組み 認知症啓発イベント 2回以上</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・両校区において、認知症サポーター養成講座を開催することにより認知症の理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。市と連携し、小中学校における認知症サポーター養成講座の開催に協力する。</li> <li>・認知症高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため早期の相談や家族の支援体制を強化する。地域拠点において、認知症の方や家族、支援者が集まって悩み等を話せる認知症カフェ開催に向けた取り組みとして、認知症啓発イベントを実施する。</li> </ul>

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合い会議開催 各校区5回以上</li> <li>・地域（団体・支援者）との情報共有 各校区5回以上</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い会議を活用しながら各関係団体と連携を図り、地域の見守り体制構築に向けた取り組みを実施していく。 ・地域ケア個別会議による個別ケースの検討について積極的に行い、地域課題や効果的な取り組み、手法等について広く共有することにより、地域全体の支援やケア力の向上を図る。</li> <li>・社会福祉協議会や地域保健福祉支援チームと連携し、市の健康づくり事業に参加協力する。</li> <li>・民生委員協議会等、関係者連携会議へ参加し、関係者との情報共有及び連携を図る。</li> </ul>

## 令和3年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市西部第1地域包括支援センター

## 現状・課題

## 〔宇部市〕

宇部市の前期高齢者の認定率は4.5%と、県の平均と比べて0.6%高くなっており、今後も介護や支援を必要とする人の増加が見込まれる。また、高齢者の運動機能の低下や閉じこもりの傾向が見られるため、地域での活動の場の提供や「生きがい」を感じることができる環境づくりが必要となっている。

## 〔西宇部地区〕

高齢化率 H28年1月31.2% R3年1月36.4%

地区の高齢化率が直近5年間で5.2%増加している。自治会毎に見ると高齢化率をはじめ抱える課題がそれぞれ異なっており、地域の見守り体制づくりなどの進捗状況もまちまちである。

課題①高齢化の急速な進行。

②地域における人間関係の希薄化。閉じこもり。

③見守りなど体制づくりの地域間格差。

④若年層や子育て世代の地域活動への参加が少ない。

## 〔厚南地区〕

高齢化率 H28年1月28.6% R3年1月32.1%

直近5年間の高齢化率の増加は3.5%。小規模な宅地開発が続き、地域の人口は僅かではあるが増加を続けている。地域活動は盛んであるが認知症に対する取り組みが少ない、主導者及び後継者不足が数年前から継続して課題になっている。

課題①少子高齢化の進行。

②核家族化。

③地域における人間関係の希薄化。閉じこもり。

④地域の活力低下。

⑤若年層や子育て世代の地域活動への参加が少ない。

## 目標（目指す姿）

○世代や相談内容に捉われず、気軽にアクセスできる相談窓口を目指す。

○地域の専門的な分野、関係機関と連携しながら、健康・介護予防に対する住民の意識を向上させる。

○住民が主体性を持って、支え支えられながら、役割と生きがいを持ち笑顔になれる地域社会を目指す。



## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
健康づくり・介護予防活動の支援 5回 新たな相談、啓発の場づくり 1ヶ所
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域で介護予防に向けて取り組まれている健康教室、サロンでフレイル予防・感染予防などの正しい知識を普及する。</li> <li>○現在介護予防に取り組んでいない自治会や団体に対して活動を促す。</li> <li>○健康や介護予防に対する新たな相談の場を設ける。</li> <li>○厚南市民センター地域・保健福祉支援チームと協働で普及と実施に努める。</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
認知症サポーター養成講座 自治会単位3か所 他1か所
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症への理解を深めるため、関係機関や地域住民に対して認知症サポーター養成講座などを行い、普及啓発を行う。</li> <li>○認知症を早期に気づき支援するため、医師や認知症初期集中支援チームなどの専門職と協力して対応にあたり、併せて家族支援も行う。</li> <li>○認知症SOS模擬訓練、認知症カフェ（おれんじかぞく）を継続して開催する。</li> </ul>

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
生活支援コーディネーター、支援チーム、地域包括の3者協議を開催する。 4回 ブロック会議、地域個別ケア会議の開催 2回 関係機関と連携して、住民や団体役員などに向けた研修会・勉強会を開催する。 2回
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○あらゆる機会をとらえて地域の見守り活動の推進に向けた意識啓発を継続する。</li> <li>○地区民生委員協議会へのオブザーバー参加継続。</li> <li>○福祉委員協議会・自治会長などの会議にも可能な限り参加して協力関係を作る。</li> <li>○ブロック会議を開催する。</li> <li>○必要と思われる世帯についてケース検討会を開催する。</li> <li>○他の団体やサロン主催者などについても必要時に協力し合える関係づくりに努める。</li> <li>○生活支援コーディネーター（市社協地区担当）、支援チーム、地域包括の3者協議を継続開催して、情報交換・課題解決方法の検討などを行う。必要時には関係団体や関係者の参加を依頼する。</li> </ul>

現状・課題

〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

〔黒石地区〕

黒石地区の高齢化率は22.3%と市内で最も低く、比較的若い世代が多い地域である。大型商業施設を中心に、マンションや住宅地が広がり、新しい住民と旧来の住民が混在しており、地域によっては近隣住民の関係性の希薄化や、地域コミュニティを支える担い手不足が問題である。

〔原地区〕

原地区は、隣接地区や小野田市街地に足を運ぶと、大型商業施設や病院が充実しているが、地区内には社会資源が少ない。高齢化率は34.2%で、年々上昇している。平成27年10月から広場等を活用しての移動販売が開始になり、現在は参入事業所も増え、個人宅での販売も行われるようになった。また平成29年7月からコミュニティタクシーが開始し、令和元年からは、住民の要望や、全世帯対象にアンケートを実施しながら、地域住民が乗車しやすいルート変更や停留所の充実が図られている。しかし、依然として買物や通院等が困難な高齢者の孤立化が心配される。

目標（目指す姿）

- ・地域住民が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、福祉なんでも相談員とともに、地域の各種団体、地域・保健福祉支援チームと協同し、地域の実情や課題の共通認識を深め、解決に向けた取り組みを実施していく。
- ・介護予防の視点【①高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐ ②要支援・要介護状態になっても、状態がそれ以上に悪化しないようにする】を持ち、地域における啓発活動や活動の場づくりを行う。
- ・地域ケア会議や困難事例の対応、研修会の開催を通じて、支援者間のネットワーク構築や介護支援専門員の実践力向上の支援を行う。

## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、健康教室等、地域の集まりの場を生かして介護予防の取り組みを継続実施する。</li> <li>・新規相談時や更新時に介護保険制度や総合事業について説明を行い、本人の希望や状態に応じた適切なサービスの利用につなげる。</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5か所の健康教室で感染対策を行いながら、体操や体力測定等を行い、運動機能向上を目指す。</li> <li>・地域行事、健康教室等で健康診断の受診を促すことで、健康づくりの意識付けを行う。</li> <li>・サロンや健康教室等、地域住民が集まる場所で、総合事業の説明を行い、普及・周知活動努める。</li> <li>・今年度より、黒石地区各自治会単位で地区社協主催のもと、地域・保健福祉支援チームと合同でフレイル講座を行い、要支援・要介護状態の予防や改善を図る。</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者が地域で安心して生活できるよう、地域の力を生かした見守り体制の充実を図る。</li> <li>・認知症高齢者やその家族の身近な相談窓口として、早期相談につながるよう、周知活動を行う。</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会および中学校で、黒石見守りネットワーク推進協議会や地域・保健福祉支援チームと共同で認知症サポーター養成講座を開催する。</li> <li>・西部第1地域包括支援センターと共同で、認知症カフェ（おれんじかぞく）を開催する。</li> <li>・各地域行事や健康教室やサロン等で、認知症に関するパンフレットの配布や講話を実施する。</li> <li>・以上の活動においては、いずれも新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえて開催の可否を判断する。開催時には、感染症対策を実施する。</li> <li>・個別の相談に速やかに対応し、医療機関や認知症初期集中支援チーム、居宅介護支援事業所と連携を図り介護保険サービス等の必要な支援につなげる。</li> </ul>

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、地域・保健福祉支援チーム、関係機関と連携し、誰もが安心して暮らしやすい、地域の実情に応じた支え合いの体制づくりを行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症のなかで、自粛生活中の不安感や閉じこもり、医療や介護が必要な状態になっても、高齢者が地域で安心して生活ができるように、地域や専門機関との連携の強化を図る。</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題を見いだせるように、地域ケア会議の開催を行う。</li> <li>・毎月、民生児童委員協議会に、地域・保健福祉支援チームと一緒に参加し、情報交換や相談対応を行う。</li> <li>・多様な問題を抱える高齢者を地域で支える体制を整えるため、ケースに応じて地域の関係者や専門職を招集し、地域個別ケア会議を開催する。</li> <li>・黒石見守りネットワーク推進協議会や地域・保健福祉支援チームと共同して、消費者被害に関する研修会を行う。</li> </ul>

## 令和3年度 地域包括支援センター事業計画書

中部第一地域包括支援センター

現状・課題
<p>〔宇部市〕</p> <p>前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。</p>
<p>〔小羽山校区〕</p> <p>高齢化率の33.7%。県営・市営の集合住宅が多く集合住宅からのご相談が増えている。就労出来ず、高齢、障害、経済的な貧困など相談をする人がいない方等、様々な課題を持っており世帯で対応するケースも増加している。地元の民生委員・福祉委員・自治会役員と地域の有識者と一緒に出向くこと。また、高齢者総合支援課や地域福祉課、生活支援課と共に実践を通じて業務確認を行いたい。</p>
<p>〔上宇部校区〕</p> <p>上宇部校区の人口は宇部市の中でも人口が多い。上宇部地区の組織運営は軸になる地域力や人材で発展している。地域の見守り活動も積極的に動いている。最近では、民生委員、福祉委員の総会など多くの関係機関の会議の場所で、地域包括についての説明が出来る時間を頂いている。上宇部校区の見守り研修会、ふれあい昼食会、健康上宇部21など地域の行事も取り組んでいきたいと考える。</p>
目標（目指す姿）
<p>宇部市関係機関と包括支援センターが報告・連絡・相談を基本に置き、事業運営を行う、地域住民の心身の健康保持や健康づくり、介護予防の推進を行う。</p> <p>地域包括支援センターの運営については、宇部市と協働する。</p> <p>① 公益性 中立性の高い事業運営を行う。</p> <p>② 地域性 地域の特性を大切に、上宇部・小羽山の生活実態を知り、また犯罪に巻き込まれないような啓発活動も行う。</p> <p>③ 協働性 関係機関同士の仕事の理解や役割の違いを知ること。昨年同様、民生委員・自治会長・福祉委員と一緒に地域の中で活動する。共通の体験、時間の共有をする中で、地域の人の意見や重いを知り、地域の中に溶け込む努力をしていく。</p> <p>中部第一は、開設当初から地域との「顔の見える関係づくり」を伝統とし、受け継いできた。地域の中で様々な問題はあるも、世帯での対応も課題である。複合的で個別の対応もあり、福祉・医療の専門職の方と協働はもちろんのこと地域で暮らしている方と一緒に、支援の在り方を模索したい。そのために、足で稼ぐことを厭わず現場で今、何が起きているかを知る努力をしたい。</p> <p>包括支援センターが地域の人にとっても関係機関にとっても身近な場所になることを目指す。</p>

## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<p>地域住民の集まりやすい場所を利用して、介護予防や地域包括支援センターの紹介を行う。地域住民の心身の健康保持や健康づくり、介護予防の推進を行う。</p>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での生活を継続するために、介護予防支援事業や総合事業の紹介をしながらも、地域の自治会やふれあいセンターなど出向いて介護予防ができるとよいと考える。まずは、地域包括の認知症の話を聴いて地域の社会資源について再度認知する。地域の数多くある社会資源の機能について知って頂く。</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<p>認知症café るるるカフェを地域の自治会館などで開催する。認知症を言葉だけではなく、認知症とはどういう症状であるかを、知っていただく機会になれるような認知症caféに取り組む。</p>
事業計画（具体的な取組）
<p>認知症になって地域で暮らすことはスローガンとして聞かれている。認知症ケアについて、地域の人と一緒に関わりながらケアの方法や地域の力などをお借りして支援するものではないかと考えている。地域住民の方が認知症発症から問題が生まれ、暮らしにくさが生まれてくる。その中で、時間を作りあいながら「地域ケア会議」などを開く。「地域ケア」の中から認知症について話し合いをしながら認知症ケースの実践をしていく。自治会館で少数の認知症caféを行いたい。</p>

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にどんな方が住まれているか、どんな社会資源があるかを点としてとらえるだけでなく面でもとらえつながりが強固になる努力をする。</li> <li>・公立小学校や中学校、敬老会などコロナ感染症が落ち着けば、出張講座などを展開したい。</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にどんな方が住まれているか、どんな社会資源があるかを点としてとらえるだけでなく面でもとらえつながりが強固になる努力をする。</li> <li>・公立小学校や中学校、敬老会などコロナ感染症が落ち着けば、出張講座などを展開したい。</li> <li>・地域行事には積極的に参加をして、「顔の見える関係」を大切にしたい。</li> </ul>

現状・課題

〔宇部市〕

宇部市の前期高齢者の認定率は4.5%と、県の平均と比べて0.6%高くなっており、今後も介護や支援を必要とする人の増加が見込まれる。また、高齢者の運動機能の低下や閉じこもりの傾向が見られるため、地域での活動の場の提供や「生きがい」を感じることができる環境づくりが必要となっている。

〔新川校区〕

高齢化率は27.26%で市内でも若い地域である。地区全体としては人口・子どもの数ともに増加傾向である一方で人口減少、少子化、高齢化が進んでいる地区もあるなど校区内で大きな違いのある校区である。R2年度は新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら住民茶話会を2回開催し(東桃山・三炭町)個別的な地域課題の抽出に努めた。住民主体の新たなサロン・集いの場の立ち上げの声も出たが、地域のリーダー的な存在、集う場所が見つからないなど新たな課題が見つかった。今年度は新型コロナウイルスのワクチン接種の動向を見ながら支え合い会議を適宜開催し、茶話会の開催、新たな集いの場の立ち上げ、社会資源マップの制作に取り掛かる予定である。

〔鵜の島校区〕

高齢化率は36.56%。少子高齢化が進行している地域である。令和元年度から宇部市地域共生社会モデル地区に指定され、R2年度より地域住民・障害者・高齢者と支援チーム・宇部市社協・包括など専門機関で、不定期で「鵜の島会議」を開催し地域の課題について話合っている。その中で、コロナ禍でも開催できるイベントとして「鵜の島美術館」(誰でも参加できる作品展)を立ち上げた。R3年度は引き続き半年に一回程度のペースで鵜の島美術館を開催し地域に根付いたイベントとしていくこと、更にレノファ山口に協力を仰ぎ、観戦ツアーや校区内のイベントへの参加、協力を双方行っていく予定。鵜の島会議ではイベントだけでなく防災や地域課題についても話し合っていく。

〔藤山校区〕

高齢化率30.84%。地域内にJR宇部線と小野田線、国道190号線が通り、車の往来も激しく、南側は工場等が立ち並んでいる。文京町を中心に大学、短大、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、保育園など教育機関が充実している文教地区である。校区行事が行われる際は健文会などと協働で健康相談ブースを開くなど参加している。藤山サポート会(有償ボランティア)は校区内で周知されており、地域包括支援センターでも必要性があれば支援に繋げるケースもある。支え合い会議は現在も開催されておらず、R3年度は、宇部市社協、支援チームとともに地域課題を把握していく必要がある。

目標 (目指す姿)

校区内でも地域の現状の違いが顕著ではあるが、地域住民、関係機関、福祉なんでも相談員、地域包括支援センターが連携し、福祉地域全体で高齢者を支えるネットワークが構築され認知症の人やひとり暮らし高齢者が孤立することなく、地域の絆でつながりながら住み慣れた地域で安心して暮らし続けられている。

## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
地域のサロン、健康教室、集いの場において専門職派遣事業の利用や専門機関と協力しながら介護予防の取り組みを紹介し利用促進をしていく。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のサロンや健康教室、集いの場において専門職を招いて健康体操や健康に関する取り組みを紹介し介護予防への取り組みを促進する。</li> <li>・地域住民に向けて、介護保険や介護予防・日常生活支援総合事業の説明をわかりやすく行い周知を行う。</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
認知症について学ぶ機会をつくり、認知症高齢者やその家族が安心して暮らせる地域作りを目指す。
事業計画（具体的な取組）
民生委員や自治会、地域の集まりで認知症サポーター養成講座を開催し地域の方と共に認知症に対する理解と対応方法を学ぶ。地域の方に徘徊模擬訓練など認知症に関するイベントや研修会の開催を提案していく。

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
地域によって形態が異なっているものの、支え合い会議や関係者間会議に参加し高齢者が安心して生活していける地域作りに貢献する
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新川支え合い会議を開催し地域課題や新たなイベント(介護予防・認知症関連)の立ち上げを提案し支援していく。</li> <li>・鵜の島会議に参加し、高齢者の立場で防災に関する困りごとを地域に向けて発信していき、また地域共生社会を目指す催しの支援を行う。</li> <li>・藤山校区に関しては支援チーム、市社協と協力しながら民生委員や自治会、関係機関と繋がって地域の実情を把握していく。支え合い会議の必要性を検討していく。</li> </ul>

## 令和3年度 地域包括支援センター事業計画書

北部東地域包括支援センター

## 現状・課題

## 〔宇部市〕

宇部市の前期高齢者の認定率は4.5%と、県の平均と比べて0.6%高くなっており、今後も介護や支援を必要とする人の増加が見込まれる。また、高齢者の運動機能の低下や閉じこもりの傾向が見られるため、地域での活動の場の提供や「生きがい」を感じることができる環境づくりが必要となっている。

## 〔厚東地区〕

地域づくりの活発な地域であり特に子育て支援については、「厚東ひだまり教室」がありその活動は全国的にも評価されている。平成17年度文部科学省第1回放課後子ども教室推進表彰を受けている。厚東地区コミュニティ推進協議会、自治会連合会、NPO法人厚東ネットが中核的となり先駆的な地域づくり活動を推進している。人口の推移は10年間で300人以上減少、今後も過疎化が進むと考えられる。また高齢化率も上昇すると予想され、地域活動の担い手や農業の後継者不足の解消、空き家、耕作放棄地の有効活用などが課題となる。

地域福祉活動については、2020年度から福祉委員と民生委員が「ふくし連絡票」を活用し連携した見守り活動の実施を始めた。

## 〔二俣瀬地区〕

多くの地域資源に恵まれており、社会福祉法人・医療法人など地区内の法人の支援を積極的に受け入れ、住民との交流も盛んな地域である。面積約30km<sup>2</sup>の農村地域で地区内の約2割の人が農業を営み、農地面積は市全体の約1割。人口は過去10年間で400人以上減少しており、農業の担い手不足は深刻である。過疎化により公共交通が2本の幹線道路しかなく、デマンドタクシーも整備されているが、高齢者の移動手段が不足している。地区内の社会福祉法人が買物等の外出支援を行っているが、不便は解消されず地域の大きな課題である。

地域福祉活動については、2020年度から福祉委員会が民生委員と連携・協議し見守り活動を組織的に実施していく取り組みを始めた。

## 〔小野地区〕

小野茶園やアクトビレッジおのを活用し、市内外からの交流人口は大変多い地区である。市街地から北27km離れた中山間地域であり、過去10年間で人口は400人以上減少している。市内で最も高い高齢化率となっている。近くに医療施設がなく、移動手段などの課題もありH28年7月の住民アンケートでは、医療福祉に不安を抱いている人が多かった。また、担い手不足による耕作放棄地や空き家の増加が著しい。

地域福祉活動については、組織的に活動している団体としては、有償ボランティアの「ハッピーライフおの」が立ち上がっている。主に高齢者の生活支援を行っており、今後は組織的な見守り活動などの実施が望まれる。

## 目標（目指す姿）

- ・北部東圏域は、人口の著しい減少、少子高齢化の急速な進展等により、農林水産業等の経済活動が停滞するとともに、集落の機能が大幅に低下しており、危機的状況におかれていることから、山口県の中山間地域に設定されている。高齢化率は、50.8%（R3/4/1現在）で日常生活圏域6ブロック内で最も高い。しかし利用できる社会資源も少なく、移動手段への課題もあり、ますますコミュニティへの参加は減少していくと考えられる。北部東圏域は通いの場としてサロンの数が非常に多く、今後もサロンを含む集いの場の継続維持を支援していくために出前講座や体験講座などを実施して積極的に関わっていくことが必要である。

- ・北部圏域は、農業を営んでいる住民が多く、繁忙期はとて忙しく負担が大きい。支え会議など新しい取り組みが負担とならないように配慮しながら、地区の事情に合った形で進めていく。支援チーム・関係機関、団体と連携し地域住民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしができる体制づくりを整えていく。

- ・これらの活動を通じて、当センターがますます身近な存在として地域に浸透していくことができるように努めていく。



## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉じこもり、運動機能の低下、不活発のリスクなどに対して介護予防の重要性をサロンや住民がよく利用する場所を活用して普及・啓発を行う。</li> <li>・楽しく取り組める介護予防を目指し地区、サロン単位でミニスポーツ大会や体験講座などを開催・参加し、住民同士がつながれる場や外出できる場を増やしていく。</li> <li>・広報誌を年2回発行し当センターの周知をはかり認知してもらうことで、相談しやすい体制をつくる。必要に応じて医療・介護予防サービスなどにつなげていく。</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや集いの場での介護予防に関する出前講座を実施する。（3回/年）</li> <li>・郵便局など住民がよく利用する場所へ協力を要請し、健康チェックや介護相談を実施する。（1回/3地区）</li> <li>・広報誌：「北部東だより」の発行。（2回/年）</li> <li>・支援チーム、地域団体と連携し地域行事やサロンなどでスポーツ体験講座やミニスポーツ大会を実施する。（ボッチャ、ラダーゲッターなど）（3回/年）</li> <li>・高齢者施設などで体験出前講座を実施する。（1回/年）</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの住民に認知症について正しい知識をもってもらう。</li> <li>・本人もその家族も安心して暮らせる優しい地域となるよう、支援チームと連携しながら目指す。</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のサロン等へ認知症についての出前講座を行う。（2回/年）</li> <li>・支援チームと連携しながら、認知症サポーター養成講座の開催に向けて関係機関と協議・開催する（2機関）</li> <li>・当センター職員がキャラバン・メイト養成講座に参加する（1名）</li> </ul>

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合い会議へ参加・開催し、地域課題の把握を行い、支援チーム等関係機関と連携しながら解決を目指す。</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚東地区（4回/年） 引続き『ふくし連絡票』を活用して福祉委員、民生委員が連携した見守り活動が行えるように交流会を開催する。また高齢者の見守りに重点を置き協議を行う上で、福祉委員が認知症高齢者への理解を深め実践的対応ができるように、徘徊模擬訓練を行う。</li> <li>・二俣瀬地区（1回/年） 引続き移動手段としてのデマンドバスを活用した試験的運用と協議を行う。福祉委員と民生委員が連携して見守り活動が行えるように協議できる場を開催する。</li> <li>・小野地区（10回/年） 昨年実施したアンケートより事業の認知度、サービスの必要度、ニーズの再確認などの内容をもとに今後も協議を行う。高齢者の生活支援、空き家管理など今後も協議を重ね地域課題の把握を行い地域住民が主体となり解決できる仕組みをつくっていく。</li> </ul>

現状・課題
<p>〔宇部市〕</p> <p>宇部市の前期高齢者の認定率は4.5%と、県の平均と比べて0.6%高くなっており、今後も介護や支援を必要とする人の増加が見込まれる。また、高齢者の運動機能の低下や閉じこもりの傾向が見られるため、地域での活動の場の提供や「生きがい」を感じることができる環境づくりが必要となっている。</p>
<p>〔船木校区〕</p> <p>船木校区ではH26年孤独死4件の発生を契機に、孤独死ゼロを目標にH27年支え合い会議がコミュニティ推進協議会を中心に始まった。高齢者の見守り強化として、事業所による「船木あつたか見守りネットワーク」は42事業所から50事業所へ拡大できており、各自治会による「ゆるやかな見守り体制」構築も推進できている。また、現状に加えてコロナ禍における見守り対策として、あんしん見守りコールサービスやICT活用したツールを使用することも思案中。その他、「有償助け合いサービス」や「魅力ある集いの場づくり」の推進も課題となっている。</p>
<p>〔万倉校区〕</p> <p>高齢化率47.4%と高齢化が急速に進んでおり、認知症の相談件数も増えてきている。コミュニティ推進協議会の中の健康福祉部会では2回/月の「健康スポレク広場」で健康づくりの啓発や共生社会への取り組みを行っている。中心部では盛んに活動している一方、それ以外の過疎地では参加が減り、サロンの存続が難しい出てきたり、集いの場へ参加できない人の孤立化も課題となっている。</p>
<p>〔吉部校区〕</p> <p>高齢化率は50%を超え、少子高齢化社会も加速度的に進み、独居高齢者や高齢者世帯も多く、自治会は限界集落が多い。コロナ禍においては、3校区中一番地域活動を自粛されている。この状況の中、有償助け合いサービス「吉部ふれあいサポート」は、高齢者のちょっとした困りごとが解消され、見守りにもつながってる。しかしながら、まだまだ受診や買い物に行く交通手段がないことが課題となっている。</p>

目標（目指す姿）
<p>3校区とも高齢化率は進んでおり、社会資源も少ない。住み慣れた地域でできるだけ長く過ごせるように、元気な高齢者を担い手とする支え合いのシステムを構築していく必要がある。</p> <p>地域団体や事業所、関係機関と連携を図り、介護予防や健康づくり、認知症や障害に対する理解の取組を行い、地域共生社会を目指す。地域住民への認知症への理解や民生委員との連携強化に努め、さらなる見守りの質の向上を目指す。</p>

## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンへの参加。(15回/年)</li> <li>・健康相談会で総合事業の周知活動を行う。(12回/年)</li> <li>・万倉健康福祉部会など地域団体と連携し、健康づくりの推進を図る。(5回/年以上)</li> </ul>
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン交流会で出前講座のメニューを配布し、いきいきサロンに対し地域包括支援センターの周知を行い、健康講座を開催する。</li> <li>・こもれびの郷や山口銀行船木支店での相談会、吉部マルシェなどにおいて、総合事業や介護予防の周知活動をする。</li> <li>・万倉健康福祉部会が開催する「健康スポレク広場」へ参加し、健康や介護予防の促進を支援する。</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援(認知症バリアフリーの推進)

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座の開催(各校区1回以上)</li> <li>・認知症カフェの開催と周知(6回/年)</li> <li>・認知症SOS模擬訓練の開催(1回/年)</li> <li>・地域の施設やイベント時に認知症啓発の展示を行う。(各校区1か所ずつ)</li> </ul>
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座では地域住民向けと小学生向けに開催し、認知症になっても住み慣れた地域で暮らせる街づくりを目指す。</li> <li>・認知症カフェの開催においては、リモートと対面の両者の特性を生かし、圏域内の他事業所と連携を取りながら、気軽に話せる環境をつくる。</li> <li>・認知症SOS模擬訓練については、すでに認知症サポーター養成講座を行った団体の協力を得ながら地域と共同で開催し、認知症の方への対応を共有する。</li> <li>・各校区のふれあいセンターや施設、イベント時に多くの住民の目にとまるように、パネルなどで認知症啓発の展示をする。</li> </ul>

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・船木校区における地域支え合い会の開催(10回/年以上)</li> <li>・万倉健康福祉部会の会議を支え合い会議に2回/年以上位置付ける。</li> <li>・地区社協主催の福祉交流会への参加(2回/年)</li> </ul>
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体や地区社協、支援チームと連携し、支え合い会議の開催を継続する。</li> <li>・万倉健康福祉部会の会議で地域課題をあげて、解決に向けた議論を進める支援をする。</li> <li>・福祉交流会では福祉委員をはじめ民生委員や自治会長と交流し、各校区の見守りの強化の周知を行う。</li> <li>・地域ケア個別会議を行い、地域課題を顕在化し、地域資源の創出へつなげていく。</li> </ul>

## 令和3年度 地域包括支援センター事業計画書

宇部市南部第1地域包括支援センター

## 現状・課題

## 〔宇部市〕

宇部市の前期高齢者の認定率は4.5%と、県の平均と比べて0.6%高くなっており、今後も介護や支援を必要とする人の増加が見込まれる。また、高齢者の運動機能の低下や閉じこもりの傾向が見られるため、地域での活動の場の提供や「生きがい」を感じることができる環境づくりが必要となっている。

## 〔恩田地区〕

恩田地区の高齢化率は32.4%で、市全体の高齢化率（33.2%）よりやや低い。小学校の児童数が多く、子育て世代も多い圏域である。サロンは8箇所で開催されており、高齢者の健康作りや居場所作りを目的として体操や歌など様々な取り組みがされている。しかしながら、参加者が介護保険利用に移行するなどして徐々に減っているのが現状で、新規参加者の確保やサロン運営の後継者不足が課題である。また、地域の担い手全体が高齢化してきており、新しい担い手を発掘する取り組みとしても地域行事の継続、活性化を目指しているが、昨年からのコロナ禍で中止や縮小を余儀なくされている。新しい生活様式の中でも地域行事やサロン等で集いの場や介護予防に取り組める場としての継続を地域住民と共に目指す必要がある。

## 〔岬地区〕

岬地区の高齢化率は37.6%で、市全体の高齢化率（33.2%）より高い。漁師町で地元の繋がり意識は高いが、問題があっても表面化しにくい現状がある。飲酒の習慣も多く、高血圧者が多いという地域柄、健康に対する意識向上の必要性は高い。現在圏域内で開催されているサロンは3箇所あり、そのうち1箇所は、月曜日～金曜日まで毎日開催されている。地域住民と地域課題を共有し、健康づくりに取り組める場として既存のサロンの充実を目指すと共に、地域の実情に合った取り組みを検討していく必要がある。

## 目標（目指す姿）

・新しい生活様式に留意しながら、地域の既存のサロンを活用して、介護予防や健康づくりに取り組む場としての充実を図ると共に、誰もが参加しやすい場所を目指す。また、介護予防や健康づくりに対する周知啓発活動を行ない、住民の意識向上を図る。

・認知症に対する理解を深め、当事者や家族を支える地域づくりを目指す。認知症サポーターを増やし、養成講座の受講者には支援者チームの一員としての活躍を促進する。

・住み慣れた地域の中で、障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりを、地域の人や関係機関と一緒に考え、解決に向けて取り組む。

## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<p>地域のサロンに参加して、健康づくりや介護予防に取り組める内容や企画をサポートするとともに、参加者に周知啓発活動を行う。</p> <p>①サロンに参加してプログラム内容や運営継続をサポートする 2～3箇所/月</p>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内3箇所のサロンに毎月参加し、感染対策等に留意して継続した開催になるようバックアップする。</li> <li>・各サロンの実情に応じた、健康づくりや介護予防に関する企画を検討し、参加者の意識向上を図る。</li> <li>・住民に対して、圏域内のサロンや集いの場をチラシ配布等を通じて周知し、参加につなげる。</li> <li>・南部第2高齢者総合相談センターと合同で、フジグラン介護相談会を毎月開催し、健康や介護に対する相談を受け付けるとともに、周知啓発活動を行う。</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<p>認知症に対する理解を深め、当事者と家族を支える地域づくりを目指す。</p> <p>①認知症サポーターの養成 30名/年 ②認知症カフェの開催支援 1箇所</p>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い会議を活用して必要な団体を抽出した上で認知症サポーター養成講座を開催し、受講者を増やす。</li> <li>・受講者が支援者チームの一員として活躍できるようサポートする。</li> <li>・認知症サポーター養成講座以外にも、認知症の理解を深める学習会を地域住民や地域の関係団体向けに開催する。</li> <li>・圏域内で開催されている1箇所の認知症カフェに参加し、当事者や家族の相談に応じたり地域への橋渡しができるよう支援する。</li> </ul>

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
<p>住み慣れた地域の中で、障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりを目指す。</p> <p>①支え合い会議の開催 恩田地区 1回/2ヶ月 ②支え合い会議開催に向けての協議 岬地区 1回/年 ③支援チーム、社協と共に支え合い会議充実のための打ち合わせ 1回/2ヶ月 ④南部ブロック会議（地域ケア会議）の開催 2回/年</p>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで住みなれた地域で暮らすことができる仕組みを、地域住民や市支援チーム、社協等の関係機関と共に検討していくために「支え合い会議」を開催する。</li> <li>・恩田校区ではこれまで通り2ヶ月に1回開催して内容の充実を目指し、岬校区では開催に向けて地域団体へ理解を求め、協議を目指す。</li> <li>・南部ブロック会議（地域ケア会議）を開催し、地域課題の抽出や課題解決に向けた取り組みを検討する。</li> </ul>

現状・課題

〔宇部市〕

宇部市の前期高齢者の認定率は4.5%と、県の平均と比べて0.6%高くなっており、今後も介護や支援を必要とする人の増加が見込まれる。また、高齢者の運動機能の低下や閉じこもりの傾向が見られるため、地域での活動の場の提供や「生きがい」を感じることができる環境づくりが必要となっている。

〔神原地区〕

人口は令和3年3月時点で5472人。市役所のある市の中心部に位置するが人口は減少傾向。一方、マンションが次々に建設され、近隣住民との繋がりがほとんどなく地域活動に参加していない高齢者が多く住まれていると推測できる。大型商業施設が閉鎖され地域の商店街も寂れていく中、歩いて近所に買い物に出かけ交流する高齢者の姿を見かけることも少なくなっている。コロナ禍で地域の行事控えもあるが、外に目を向ければ活動の施設・機会は多くある地域なので、閉じこもり予防の啓発に積極的に取り組む必要がある。

〔琴芝地区〕

人口は3地域で一番多く高齢化率は一番低い。人口減少がほとんどないのも琴芝。地域は丘陵部から市中心部にかけて広場で場所によって状況は異なる。市街地に近い地域は福祉会館、多世代ふれあいセンターや保健センターなど健康づくりの活動の場は多数ある。丘陵部は交通の便は悪いが、少し足を伸ばせば参加できる住民主体の歴史あるサロンや健康教室が活動している。しかしさまざまな活動も、メンバーの高齢化やコロナ禍により衰退の・停滞の危機にある。今後も既存のサロンを存続活用していけるよう、多くの年齢層に参加を促し、担い手にもなっていただけるよう支援していきたい。

〔見初地区〕

宇部市の工業化とともに栄えた古くからの住宅地で、令和2年度、地区の高齢化率は42%を超え山間部に等しい高齢化が進行している。しかし、老いも若きもどこへ行くにも歩いて行ける距離感で地域はコンパクトにまとまり、昔から互いを見知った住民間の関係性は良好。地区コミュニティの地域の課題解決に対する意識は高く、コロナ禍においても地域住民全体を巻き込んだ高齢者等の孤立の防止に取り組んでいる。地域交流のICT化もいち早く進められているが、取り残されていく高齢者が出ないように、今後はより丁寧に支援の網を広げる必要がある。

目標（目指す姿）

南部圏域は健康保持、体力の増強をはかれるプログラムを提供している施設を多数擁し既存のサロンや健康教室も多くある。これまで介護予防や健康づくりを意識せず参加してこなかった高齢者に対し、これらの施設や取り組みを情報提供し、繰り返しの周知を図ることで、地域資源を有効に活用した介護予防に地域全体で取り組める空気をつくりたい。また、コロナ禍においても、人と人とのつながりを失わせないよう、介護予防や共生社会構築への取り組みを住民ひとりひとりに意識していただけるよう、伝えられるネットワークを構築する。

## ○重点的取組

### 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
地域住民が地域にある老人クラブやサロン、健康教室の活動を知り、関心を持ち積極的に参加できる。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の健康相談会を継続して開催し、参加者の健康課題の把握と介護予防に関する知識の普及に努める。また、密を避けるために開催場所も増設する。</li> <li>・地域にある運動施設やサロン等の情報、介護予防に関する知識を掲載した広報誌を作成し配布する。</li> <li>・地域の事業所や関係団体と共同で、体験イベント等を開催する。</li> </ul>

### 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
認知症高齢者やその家族が孤立することなく、地域で見守り支え合う環境・体制ができる。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区で認知症サポーター養成講座を開催する。</li> <li>・コロナ禍で集いの場での飲食ができないので、既存の健康教室に認知症サロンの機能を併せて開催する。</li> <li>・当事者や支援者に相談窓口を知ってもらい早期の相談につながるよう、地域住民が集う場で地域包括支援センターの周知に努める。</li> </ul>

### 3 地域支援体制の強化

成果指標
地域住民や支援者と地域課題を共有し、達成に向けた具体策を地域や関係機関とともに検討する。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員や地区役員等、地区ふれあいセンターと引き続き情報共有をはかっていく。</li> <li>・支え合い会議に参加する。</li> <li>・地域・保健福祉支援チーム、市社協と協働し、地域課題の把握や解決策を協議するとともに必要な支援や社会資源の創出に取り組む。</li> <li>・ブロック会議での事例検討や地域ケア会議を通じて、地域課題を検討し地域支援体制の強化をはかる。</li> </ul>

**令和3年度（2021年度）**  
**宇部市地域包括支援センター**  
**収支予算書**



## 令和3年度（2021年度） 地域包括支援センター収支予算書 まとめ

(円)

地域包括支援センター		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	
運営法人		社会福祉法人 光栄会	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同組 合 健文会	医療法人 仁心会	
歳入	包括的支援事業	20,543,700	22,964,000	23,704,000	21,104,000	17,304,000	23,184,000	13,958,000	14,232,000	23,646,700	23,662,110	
	指定介護予防支援事業	6,478,200	9,521,000	6,900,000	5,700,000	14,715,000	10,966,000	3,697,000	4,793,952	8,835,400	9,154,350	
	歳入合計	27,021,900	32,485,000	30,604,000	26,804,000	32,019,000	34,150,000	17,655,000	19,025,952	32,482,100	32,816,460	
歳出	人件費	包括的支援事業	14,172,900	17,930,000	19,083,000	14,950,000	17,154,000	14,500,000	11,376,500	11,182,000	16,622,700	15,253,586
		指定介護予防支援事業	3,571,400	4,856,000	2,005,000	2,900,000	5,145,000	4,800,000	2,363,000	2,568,952	6,210,700	5,901,277
		計	17,744,300	22,786,000	21,088,000	17,850,000	22,299,000	19,300,000	13,739,500	13,750,952	22,833,400	21,154,863
	事務費	包括的支援事業	6,370,800	5,034,000	6,421,000	6,154,000	150,000	8,684,000	2,581,500	3,050,000	7,024,000	8,408,524
		指定介護予防支援事業	2,906,800	4,665,000	3,095,000	2,800,000	9,570,000	6,166,000	3,084,000	2,225,000	2,624,700	3,253,073
		計	9,277,600	9,699,000	9,516,000	8,954,000	9,720,000	14,850,000	5,665,500	5,275,000	9,648,700	11,661,597
	歳出合計	27,021,900	32,485,000	30,604,000	26,804,000	32,019,000	34,150,000	19,405,000	19,025,952	32,482,100	32,816,460	
収支差額		0	0	0	0	0	0	1,750,000	0	0	0	

## 【再掲】 包括的支援事業（市受託分について）

(円)

地域包括支援センター		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2
運営法人		社会福祉法人 光栄会	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同組 合 健文会	医療法人 仁心会
歳入	委託料	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	11,758,000	11,758,000	16,704,000	16,704,000
	介護予防ケアマネジメント 費収入	3,839,700	6,247,000	7,000,000	4,400,000	600,000	6,480,000	2,199,960	2,473,000	4,719,210	6,958,110
	その他の収入	0	13,000	0	0	0	0	40	1,000	2,223,490	0
	合計	20,543,700	22,964,000	23,704,000	21,104,000	17,304,000	23,184,000	13,958,000	14,232,000	23,646,700	23,662,110
歳出	人件費	14,172,900	17,930,000	19,083,000	14,950,000	17,154,000	14,500,000	11,376,500	11,182,000	16,622,700	15,253,586
	事務費	6,370,800	5,034,000	6,421,000	6,154,000	150,000	8,684,000	2,581,500	3,050,000	7,024,000	8,408,524
	合計	20,543,700	22,964,000	25,504,000	21,104,000	17,304,000	23,184,000	13,958,000	14,232,000	23,646,700	23,662,110
収支差額		0	0	-1,800,000	0	0	0	0	0	0	0

## 令和3年度 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市東部第1地域包括支援センター)

### <歳入>

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000	/	16,704,000	
介護予防サービス計画費収入	/	6,477,200	6,477,200	
介護予防ケアマネジメント費収入	3,839,700	/	3,839,700	
その他の収入		1,000	1,000	普通預金利息
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>20,543,700</b>	<b>6,478,200</b>	<b>27,021,900</b>	

### <歳出>

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要	
<b>人件費</b>	職員給料	7,919,100	2,379,900	10,299,000	
	〃 諸手当	3,458,800	565,000	4,023,800	
	〃 法定福利費	1,933,000	389,500	2,322,500	
	賃金(臨時職員)	290,000	10,000	300,000	超過勤務手当
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	572,000	227,000	799,000	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>14,172,900</b>	<b>3,571,400</b>	<b>17,744,300</b>	
<b>事務費</b>	旅費	30,000	10,000	40,000	出張旅費
	消耗品費	508,700	89,600	598,300	コピー用紙・コピー機カウント料・事務用品等
	燃料費	149,000	50,000	199,000	ガソリン代
	印刷製本費	13,200	4,400	17,600	名刺印刷代
	光熱水費	153,000	51,000	204,000	電気代・ガス代・水道代
	修繕費	96,500	32,000	128,500	車検費用
	通信運搬費	212,000	71,000	283,000	電話代・NTTcom・郵送料
	手数料	26,000	10,000	36,000	振込手数料
	保険料	351,000	83,600	434,600	火災保険料・自動車保険料
	委託料	3,047,000	2,033,000	5,080,000	各居宅事業所へ請求分振替
	使用料及び賃借料	1,501,000	390,000	1,891,000	コピー機リース料・地域包括ケアシステムリース料・駐車場使用料
	備品購入費	100,000	20,000	120,000	
	負担金(各種研修)	65,000	22,000	87,000	研修受講料・年会費(包括協議会他)
	福利厚生費	83,000	28,700	111,700	健康診断料・インフルエンザ予防接種・制服
	租税公課	35,400	11,500	46,900	消費税・車両重量税・印紙代
<b>事務費計 (C)</b>	<b>6,370,800</b>	<b>2,906,800</b>	<b>9,277,600</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>20,543,700</b>	<b>6,478,200</b>	<b>27,021,900</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

(様式2号)

## 令和3年度(2021年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市東部第2地域包括支援センター)

&lt;歳入&gt;

(単位:円)

項目	包括的 支援事業	指定介護 予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業)	16,704,000		16,704,000	3名分
市受託金収入(福祉総合支援事業)			0	
介護予防サービス計画費収入	6,247,000	9,521,000	15,768,000	包括的 4,310×1416件うち初回加算48件 予防 4,310円×2184件うち初回加算36件
その他の収入(長期前払費用収入)	13,000		13,000	
前年度繰越金		0	0	
歳入合計(A)	22,964,000	9,521,000	32,485,000	

&lt;歳出&gt;

(単位:円)

項目	包括的 支援事業	指定介護 予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料支出	10,828,000	1,788,000	12,616,000	包括支援3名、予防介護1名
	職員賞与支出	3,436,000	531,000	3,967,000	〃
	法定福利費支出	2,767,000	735,000	3,502,000	財団掛金、健康診断料含む
	非常勤給与	810,000	1,802,000	2,612,000	予防介護1
	退職給付支出	89,000	0	89,000	退職共済掛金
	人件費計(B)	17,930,000	4,856,000	22,786,000	
事務費	水道光熱費支出	100,000	30,000	130,000	電気代
	保険料支出	103,000	55,000	158,000	しせつの損害補償、自動車任意保険料
	賃借料支出	269,000	48,000	317,000	電話、車リース料
	器具消耗品支出	245,000	0	245,000	
	車輛費支出	285,000	0	285,000	ガソリン代、タイヤ交換代等
	職員被服費支出	0	10,000	10,000	制服代
	旅費交通費支出	1,000	0	1,000	駐車場代等
	研修研究費支出	50,000	10,000	60,000	研修時交通費等
	事務消耗品費支出	130,000	0	130,000	
	印刷製本費支出	10,000	10,000	20,000	名刺代他
	通信運搬費支出	250,000	190,000	440,000	電話代、切手代
	会議費支出	0	1,000	1,000	
	業務委託費支出	2,399,000	4,158,000	6,557,000	介護予防委託料他
	手数料支出	14,000	140,000	154,000	振込手数料、残高証明発行手数料
	租税公課支出	1,000	1,000	2,000	収入印紙代
	保守料支出	268,000	0	268,000	WINCAREソフト保守料他
	渉外費支出	2,000	0	2,000	
	諸会費支出	44,000	0	44,000	
	広報費支出	5,000	0	5,000	
	修繕費	100,000	0	100,000	
	器具及び備品取得支出	300,000	0	300,000	
雑支出	0	10,000	10,000		
予備費	458,000	2,000	460,000		
繰入費	0	0	0		
事務費計(C)	5,034,000	4,665,000	9,699,000		
歳出合計(D) (B+C)	22,964,000	9,521,000	32,485,000		
収支差額(A-D)	0	0	0		

## 2021年度 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市西部第一地域包括支援センター)

### ＜歳入＞

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000	/	16,704,000	課税売上計上により仮受消費税を未払消費税として法人本部で納付
介護予防サービス計画費収入	/	6,900,000	6,900,000	
介護予防ケアマネジメント費収入	7,000,000	/	7,000,000	
その他の収入		0	0	住宅改修、前年度繰入
<b>歳入合計(A)</b>	<b>23,704,000</b>	<b>6,900,000</b>	<b>30,604,000</b>	

### ＜歳出＞

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
<b>人件費</b>	職員給料	15,603,000	1,800,000	17,403,000	
	〃 諸手当			0	
	〃 法定福利費	3,300,000	145,000	3,445,000	
	人件費負担金	180,000	60,000	240,000	
	<b>人件費計(B)</b>	<b>19,083,000</b>	<b>2,005,000</b>	<b>21,088,000</b>	
<b>事務費</b>	旅費	20,000	0	20,000	駐車料
	消耗品費	50,000	30,000	80,000	コピー代、事務用品等
	燃料費	10,000	10,000	20,000	重油代
	印刷製本費	0	0	0	
	光熱水費	20,000	20,000	40,000	
	修繕費	0	0	0	
	通信運搬費	50,000	50,000	100,000	電話、携帯電話通話料、郵送料
	手数料	30,000	100,000	130,000	振込手数料、税理士決算報酬
	保険料	0	0	0	
	委託料	5,000,000	2,330,000	7,330,000	予防事業委託料
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(各種研修)	0	0	0	地域包括協議会年会費
	賃借料	117,000	39,000	156,000	家賃
	自動車費	30,000	25,000	55,000	ガソリン代、任意保険料
	研究図書費	0	0	0	研修参加費
	広告宣伝費	3,000	0	3,000	ポケットティッシュ(啓発活動)
	患者厚生費	10,000	5,000	15,000	
	リース料	1,060,000	480,000	1,540,000	公用車、パソコン
	福利厚生費	20,000	5,000	25,000	職員健診
	租税公課	0	0	0	控除対象外消費税
衛生費	1,000	1,000	2,000	ゴキブリ防除、マット代	
雑費	0	0	0		
<b>事務費計(C)</b>	<b>6,421,000</b>	<b>3,095,000</b>	<b>9,516,000</b>		
<b>歳出合計(D)(B+C)</b>	<b>25,504,000</b>	<b>5,100,000</b>	<b>30,604,000</b>		
<b>収支差額(A-D)</b>	<b>-1,800,000</b>	<b>1,800,000</b>	<b>0</b>		

委託料課税売上計上により仮受消費税分を計上していません。よって収支差額に相当額のマイナスが発生しますがご指摘により事務費の削減をしております。

## 令和3年度 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市西部第二地域包括支援センター)

### ＜歳入＞

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000	/	16,704,000	
介護予防サービス計画費収入	/	5,700,000	5,700,000	
介護予防ケアマネジメント費収入	4,400,000	/	4,400,000	
その他の収入			0	
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>21,104,000</b>	<b>5,700,000</b>	<b>26,804,000</b>	

### ＜歳出＞

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要	
<b>人件費</b>	職員給料	12,450,000	2,900,000	15,350,000	
	〃 諸手当	450,000		450,000	
	〃 法定福利費	1,700,000		1,700,000	
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	350,000		350,000	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>14,950,000</b>	<b>2,900,000</b>	<b>17,850,000</b>	
<b>事務費</b>	旅費	3,000	0	3,000	
	消耗品費	121,000	60,000	181,000	
	燃料費	50,000	20,000	70,000	
	印刷製本費	0	0	0	
	光熱水費	200,000	130,000	330,000	
	修繕費	0	0	0	
	通信運搬費	250,000	150,000	400,000	
	手数料	40,000	0	40,000	
	保険料	90,000	40,000	130,000	
	委託料	2,500,000	2,400,000	4,900,000	
	使用料及び賃借料	2,800,000	0	2,800,000	
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(各種研修)	100,000	0	100,000	
<b>事務費計 (C)</b>	<b>6,154,000</b>	<b>2,800,000</b>	<b>8,954,000</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>21,104,000</b>	<b>5,700,000</b>	<b>26,804,000</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

## 令和3年度 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市中部第1地域包括支援センター)

### <歳入>

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000	/	16,704,000	
介護予防サービス計画費収入	/	14,700,000	14,700,000	
介護予防ケアマネジメント費収入	600,000	/	600,000	
その他の収入		15,000	15,000	法人から繰入
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>17,304,000</b>	<b>14,715,000</b>	<b>32,019,000</b>	

### <歳出>

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要	
<b>人件費</b>	職員給料	11,470,000	3,990,000	15,460,000	
	〃 諸手当	3,300,000	605,000	3,905,000	賞与
	〃 法定福利費	1,980,000	550,000	2,530,000	
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	404,000		404,000	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>17,154,000</b>	<b>5,145,000</b>	<b>22,299,000</b>	
<b>事務費</b>	水道光熱費	50,000	42,000	92,000	事務所光熱費
	保険料			0	自動車保険料等
	賃借料			0	マットリース代
	車両費		50,000	50,000	ガソリン代他
	福利厚生費	12,000	4,000	16,000	健康診断代
	職員被服費	12,000	4,000	16,000	ユニフォーム代
	旅費交通費			0	出張費
	研修研究費			0	研修参加費
	事務消耗品費	30,000	10,000	40,000	コピー代等
	通信運搬費	10,000	24,000	34,000	郵送代
	業務委託費		9,400,000	9,400,000	予防給付ケアマネジメント委託料
	手数料			0	
	租税公課			0	
	保守料	36,000	36,000	72,000	ケアマネジメントソフト保守料
<b>事務費計 (C)</b>	<b>150,000</b>	<b>9,570,000</b>	<b>9,720,000</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>17,304,000</b>	<b>14,715,000</b>	<b>32,019,000</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

## 令和3年度 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市中部第2地域包括支援センター)

### <歳入>

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000	/	16,704,000	
介護予防サービス計画費収入	/	8,000,000	8,000,000	
介護予防ケアマネジメント費収入	6,480,000	/	6,480,000	
その他の収入		2,966,000	2,966,000	前年度繰越金
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>23,184,000</b>	<b>10,966,000</b>	<b>34,150,000</b>	

### <歳出>

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要	
<b>人件費</b>	職員給料	9,500,000	3,500,000	13,000,000	
	〃 諸手当	2,700,000	800,000	3,500,000	
	〃 法定福利費	2,000,000	400,000	2,400,000	
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	300,000	100,000	400,000	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>14,500,000</b>	<b>4,800,000</b>	<b>19,300,000</b>	
<b>事務費</b>	旅費	20,000		20,000	研修参加費等
	消耗品費	450,000	50,000	500,000	コピー用紙、トナー、事務用品等
	燃料費			0	
	印刷製本費			0	
	光熱水費	150,000	30,000	180,000	
	修繕費			0	
	通信運搬費	700,000	50,000	750,000	電話、切手代等
	手数料			0	
	保険料	130,000		130,000	
	委託料	6,034,000	5,800,000	11,834,000	介護予防委託料等
	使用料及び賃借料	1,000,000	200,000	1,200,000	建物賃貸料、ネットワーク管理料等
	備品購入費			0	
	負担金(各種研修)			0	
	車両費	200,000	36,000	236,000	ガソリン代等
<b>事務費計 (C)</b>	<b>8,684,000</b>	<b>6,166,000</b>	<b>14,850,000</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>23,184,000</b>	<b>10,966,000</b>	<b>34,150,000</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

令和3年度 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市北部東地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	11,672,000		11,672,000	
介護予防サービス計画費収入		3,696,995	3,696,995	
介護予防ケアマネジメント費収入	2,199,960		2,199,960	
受取利息配当金収入	40	5	45	
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>13,872,000</b>	<b>3,697,000</b>	<b>17,569,000</b>	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	8,404,000	790,000	9,194,000	正規職員3名
	〃 諸手当	1,733,000	920,000	2,653,000	賞与
	〃 法定福利費	1,024,000	541,000	1,565,000	
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	215,500	112,000	327,500	山口県健康福祉財団
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>11,376,500</b>	<b>2,363,000</b>	<b>13,739,500</b>	
事務費	福利厚生費	14,500	5,000	19,500	
	業務委託費		3,051,000		
	職員被服費	15,000		15,000	
	研修研究費	15,000		15,000	
	事務消耗品費	90,000		90,000	
	印刷製本費	110,000		110,000	
	水道光熱費	75,000		75,000	
	修繕費	490,000		490,000	
	通信運搬費	170,000		170,000	
	手数料	5,000	20,000	25,000	
	保険料	81,000		81,000	損害賠償保険、車両保険
	賃借料	1,050,000		1,050,000	システム・PC・車両等
	保守料	240,000	5,000	245,000	システム・PC等
	渉外費	20,000		20,000	
	諸会費	50,000		50,000	山口県地域包括・在宅介護支援センター協議会
	車両費	70,000		70,000	ガソリン代
	雑支出		3,000	3,000	
<b>事務費計 (C)</b>	<b>2,495,500</b>	<b>3,084,000</b>	<b>5,579,500</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>13,872,000</b>	<b>5,447,000</b>	<b>19,319,000</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,750,000</b>	<b>△ 1,750,000</b>		



令和3年度 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市 北部西 地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	11,758,000		11,758,000	令和3年度業務委託金
介護予防サービス計画費収入		4,067,000	4,067,000	居宅介護支援介護料等
介護予防ケアマネジメント費収入	2,473,000		2,473,000	居宅介護支援介護料等
その他の収入	1,000	726,952	727,952	サービス区分間繰入金・利息
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>14,232,000</b>	<b>4,793,952</b>	<b>19,025,952</b>	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	7,202,120	1,860,520	9,062,640	常勤3名分
	〃 諸手当	2,626,997	412,615	3,039,612	通勤手当・賞与
	〃 法定福利費	1,131,567	263,321	1,394,888	社会保険料
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	221,316	32,496	253,812	常勤3名分
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>11,182,000</b>	<b>2,568,952</b>	<b>13,750,952</b>	
事務費	旅費	102,000	6,000	108,000	研修・旅行費等
	消耗品費	182,000	50,000	232,000	事務証文品
	燃料費	124,000	36,000	160,000	ガソリン代等
	印刷製本費	104,000	28,800	132,800	コピー機等使用料
	光熱水費	210,000	58,800	268,800	電気代等
	修繕費	0	0	0	
	通信運搬費	375,000	84,000	459,000	電話代等
	手数料	55,000	15,000	70,000	振込手数料
	保険料	68,000	18,400	86,400	市悦事故賠償責任保険・自動車任意保険料等
	委託料	1,026,000	1,676,000	2,702,000	予防給付ケアマネジメント委託料
	使用料及び賃借料	711,600	237,200	948,800	包括システムリース・自動車リース料
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(各種研修)	0	0	0	
	被服費	20,000	0	20,000	職員制服代
	福利厚生	30,400	14,800	45,200	福利厚生掛金等
	諸会費	42,000		42,000	県地域包括協議会会費
<b>事務費計 (C)</b>	<b>3,050,000</b>	<b>2,225,000</b>	<b>5,275,000</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>14,232,000</b>	<b>4,793,952</b>	<b>19,025,952</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

## 令和3年度 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市南部第1地域包括支援センター)

### ＜歳入＞

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000		16,704,000	
介護予防サービス計画費収入		7,979,660	7,979,660	
介護予防ケアマネジメント費収入	4,719,210		4,719,210	
その他の収入	2,223,490	855,740	3,079,230	法人からの補填
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>23,646,700</b>	<b>8,835,400</b>	<b>32,482,100</b>	

### ＜歳出＞

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	9,073,200	3,390,000	12,463,200	
	〃 諸手当	2,535,800	947,400	3,483,200	賞与、退職給付金繰入
	〃 法定福利費	2,244,400	838,600	3,083,000	
	賃金(臨時職員)	2,769,300	1,034,700	3,804,000	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金			0	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>16,622,700</b>	<b>6,210,700</b>	<b>22,833,400</b>	
事務費	旅費	0	0	0	
	消耗品費	74,300	27,700	102,000	
	燃料費	40,800	15,200	56,000	コピー用紙、文具代
	印刷製本費	2,900	1,100	4,000	名刺代
	光熱水費	84,400	31,600	116,000	
	修繕費	0	0	0	
	通信運搬費	189,000	71,000	260,000	電話、郵送代
	手数料	26,200	9,800	36,000	振込手数料
	保険料	254,800	95,200	350,000	養老、賠償保険
	委託料	4,957,500	1,852,200	6,809,700	居宅事業所委託料
	使用料及び賃借料	423,700	158,300	582,000	家賃、駐車場代
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(各種研修)	0	0	0	
	その他の支出	970,400	362,600	1,333,000	福利厚生費等
<b>事務費計 (C)</b>	<b>7,024,000</b>	<b>2,624,700</b>	<b>9,648,700</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>23,646,700</b>	<b>8,835,400</b>	<b>32,482,100</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

## 令和3年度 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市南部第2地域包括支援センター)

### ＜歳入＞

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000		16,704,000	前年度に基づく
介護予防サービス計画費収入		9,154,350	9,154,350	前年度に基づく
介護予防ケアマネジメント費収入	6,958,110		6,958,110	
その他の収入			0	
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>23,662,110</b>	<b>9,154,350</b>	<b>32,816,460</b>	

### ＜歳出＞

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	10,889,804	4,213,025	15,102,829	収益按分
	〃 諸手当	2,833,270	1,096,130	3,929,400	〃
	〃 法定福利費	1,530,512	592,122	2,122,634	〃
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金			0	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>15,253,586</b>	<b>5,901,277</b>	<b>21,154,863</b>	
事務費	旅費	144	56	200	収益按分
	消耗品費	38,451	14,876	53,327	事務用品等
	燃料費	52,636	20,364	73,000	ガソリン代
	印刷製本費			0	
	光熱水費	76,142	29,458	105,600	電気・水道代
	修繕費			0	
	通信運搬費	27,215	10,529	37,744	電話・郵送料
	手数料	99,699	38,571	138,270	事務・振込料
	保険料	3,461	1,339	4,800	火災保険
	委託料	5,996,230	2,319,810	8,316,040	ケアマネジメント料
	使用料及び賃借料	2,114,545	818,071	2,932,616	家賃・自動車リース費用
	備品購入費			0	
	負担金(各種研修)			0	
<b>事務費計 (C)</b>	<b>8,408,524</b>	<b>3,253,073</b>	<b>11,661,597</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>23,662,110</b>	<b>9,154,350</b>	<b>32,816,460</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		